手で考え、心でつくる。

Kanazawa
College of Art

2023

金沢美術工芸大学

大学憲章

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。
以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。
素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

沿革

1946　本多町3番丁（現出羽町）に金沢美術工芸専門学校（本科3年、予科1年制、美術科45人、陶磁科30人、漆工科30人、金工科15人、計120人）を設立

1950　金沢美術工芸短期大学（3年制、美術科45人、工芸科75人、計120人）を設立

1955　金沢美術工芸大学（4年制、美術学科〔絵画専攻・彫刻専攻〕40人、産業美術学科〔商業美術・工業意匠〕60人、計100人）を設立

1965　美術科定員を1学年40人から55人に増員、商業美術、工業意匠を商業デザイン専攻、工業デザイン専攻に変更
産業美術学科に工芸・繊維デザイン専攻（15人）を設置

1966　教職課程（正規・聴講）を設置
図書館及び実験研究棟が完成

1970　伝統工芸聴講生制度を設置（～2011）

1971　博物館学課程を設置

1972　美術工芸研究所を設置
小立野5丁目11番1号に新校舎が完成
（敷地面積57,242.88㎡、建物面積15,026.93㎡）

1973　研究生制度（学部）を設置
市民講座を開設（～2006）

1974　工芸・繊維デザインを工芸デザイン専攻に変更

1977　市民工房を開設（～2004）

1979　大学院修士課程（絵画・彫刻専攻、産業デザイン専攻）を設置

1980　大学院棟が完成
（鉄筋コンクリート造3階建、建物面積3,366.85㎡）
夜間教養講座を開設（～1991）

1985　石彫棟を新築

1986　美術学科に芸術学専攻（10人）を設置
美術工芸研究所棟（4階建、建物面積3,364.7㎡）、
美大ホール（500席、建物面積1,331.01㎡）が完成

1990　大学院修士課程（芸術学専攻）を設置

1991　大学院（修士課程）工芸デザイン専攻定員を
1学年15人から20人に増員

1992　工芸実習棟（3階建、建物面積3,610.19㎡）が完成

1993　共通造形センターが発足（～2010）

1996　学科再編により美術科（日本画専攻・油画専攻・彫刻専攻・芸術学専攻）65人、デザイン科（視覚デザイン専攻・製品デザイン専攻・環境デザイン専攻）60人、工芸科20人が発足

1997　大学院博士後期課程を設置

1998　国際的芸術家滞在制度を発足（～2006）
芸術学専攻、デザイン科3専攻が推薦入学を実施

2000　大学院修士課程再編により（絵画・彫刻・芸術学・工芸・デザイン専攻）の5専攻が発足
図書館棟増改築工事（増築部3階建、建物面積2,224.83㎡）が完成

2001　運営諮問会議を設置（～2010）

2005　大学院修士課程（デザイン専攻）にファッションデザインコースを設置
美術工芸研究所に産学連携センターを設置

2006　美術工芸研究所を再編し、教育研究センター、地域連携センター、産学連携センター、国際交流センターの4センターが発足

2007　美術工芸研究所を造形芸術総合研究所に改称
芸術学専攻定員を1学年10人から15人に増員

2008　財団法人大学基準協会の大学基準適合認定

2010　アートギャラリー開設（～2014）
公立大学法人金沢美術工芸大学に移行
造形芸術総合研究所を美術工芸研究所に改称

2011　問屋まちスタジオを開設
アートベース石引を開設

2014　柳宗理記念デザイン研究所を開設

2016　社会連携組織を再編し、社会連携センターに地域連携部門、産学連携部門、知財管理部門を設置
アジア美術戦略会議、キャリア支援室が発足

2017　美術工芸研究所ギャラリーを開設
研究生制度（学部）を廃止

2018　大学院美術工芸研究科に研究生制度を設置

2023　入学定員の一部変更とデザイン科の改編により、美術科（日本画専攻・芸術学専攻）65人、デザイン科（ホリスティックデザイン専攻・インダストリアルデザイン専攻）60人、工芸科30人の教育課程に移行
大学院修士課程（絵画専攻）に映像コースを設置、絵画専攻定員を1学年10人から14人に増員、工芸専攻定員を1学年9人から13人に増員、デザイン専攻定員を1学年10人から6人に減員

活動指針

創作の意欲と能力を育てる教育の推進
Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、
人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエーターの育成を目指す。

質の高い研究とオリジナリティの追求
Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、
固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

地域と世界に貢献する芸術活動の展開
Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、
地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展
Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、
自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

このまちで学ぶこと。
手で考え、心でつくること。

学問を好み、伝統を愛して
その歴史を紡いできたまち、金沢。
工芸が今も生活のなかに息づくこの地は、
ものづくりのまちでもあります。

金沢美術工芸大学は、
戦後の困難な時代のなか、
人のつくる力を信じる金沢の市民が、
その心でつくった大学です。

この大学には、
「手で考え、心でつくる」ということばがあります。
ここで教鞭をとったある教員が残したこのことばは、
ものをつくることが
「つくりながら、試み、考える」ことであること、
「心をこめて」行うことであることを教えてくれます。

この大学で、たくさんの先輩たちが
「つくりながら、試み、考える」ことを繰り返し、
「心をこめて」作品をつくりあげ、
世界へ飛び立っていきました。

「手で考え、心でつくる」。
今日も金沢美術工芸大学では、
このことばのもとで、
学生たちが学び、鍛錬を重ねています。

ものをつくること、そして
ものをつくることについて真剣に考えること。
それを志すあなたの豊かな力になる時間が、ここにある。
私たちは、そう信じています。

ご挨拶

金沢美術工芸大学　学長　山崎 剛
President Yamazaki Tsuyoshi

私たちのキャンパスには正門というものがありません。本館の正面に向かって校地を眺めると、入り口としての門も、内と外を隔てるフェンスも無いことに気づくでしょう。けやきの木々に彩られた校庭を、ときおり近所の保育園の園児たちが乗り合いカートで散策しています。校舎に入ると廊下の壁にピクチャーレールがあり、まるで部屋のように広い廊下が展示室の役割を果たしていることに気づくでしょう。ここで学生が作品を展示し、教員による講評が行われ、また廊下という空間ゆえに人が通り、不特定多数の他者が作品を目にします。

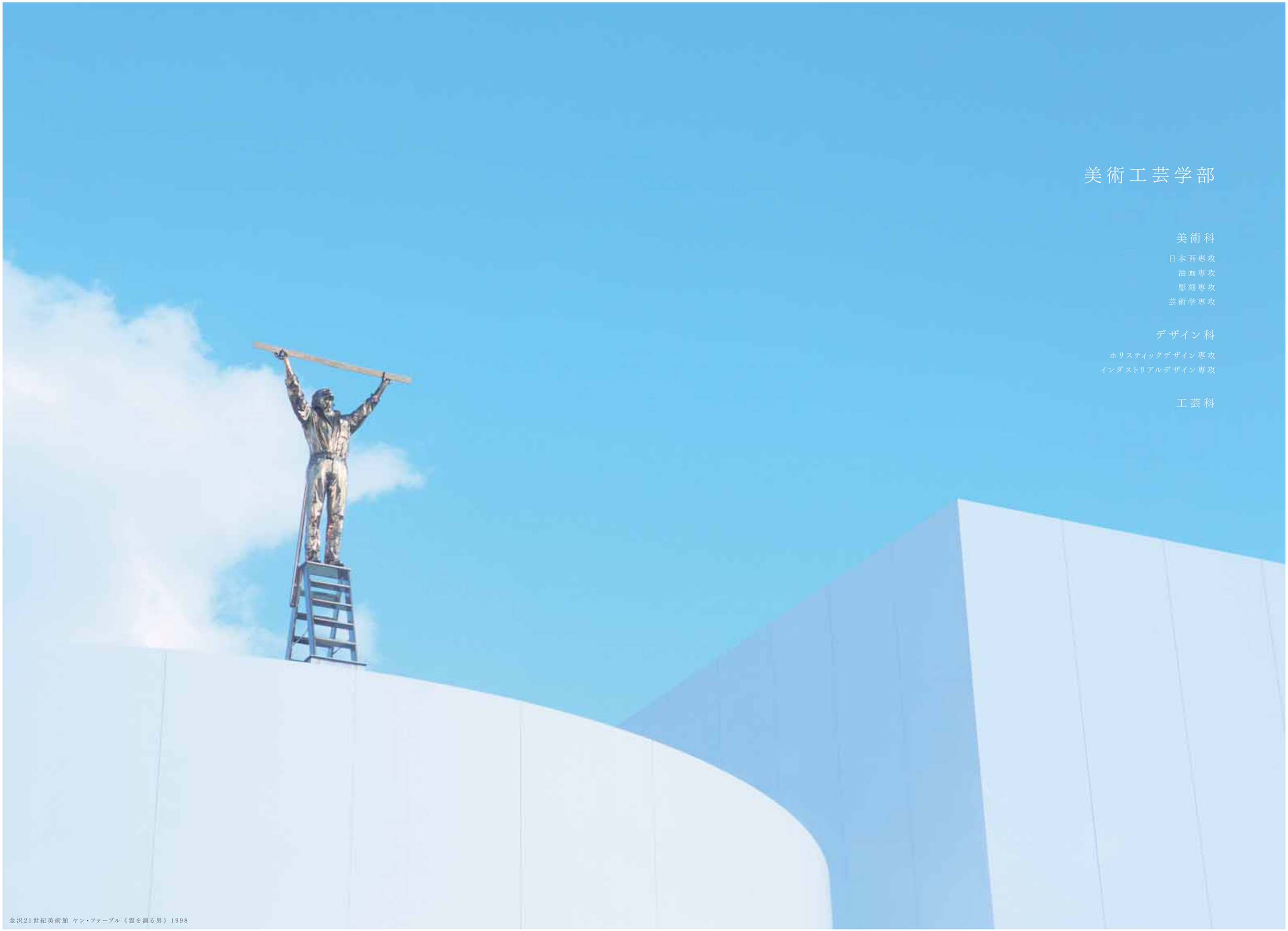
私たちのキャンパスは開かれています。その一方で、学生たちの日々の学びは、良い意味で、正しく閉じられた環境の中で行われています。素材を知り、技を磨くためには、自己を見つめ自己と向き合うことが大切だからです。学びは、習うこと或いは倣うことに始まり、私たちはそれを勉めて強いるでしょう。絵画には絵画の、彫刻には彫刻の、工芸には工芸の、デザインにはデザインの、芸術学には芸術学の、学ぶべき基礎が何よりも大切だからです。大学での学びは、社会的な有用性といったものから一定の距離を保ち、基礎力を磨く貴重な時間です。

私たちが考える芸術創造の自由、一人ひとりの世界観の構築はその先にひろがっています。だから大学憲章に、「素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成する」と謳うのです。そして目まぐるしく変化する社会において、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動すること、更には自らの世界観に基づき継続すること、その芸術に生きる力を育みたいと、私たちは心より願っています。

ともに学びましょう。けやきの木々に彩られたキャンパスで。

目次

大学憲章　02
活動指針　03
学長挨拶　06
日本画　10
油画　16
彫刻　22
芸術学　28
ホリスティックデザイン　34
インダストリアルデザイン　40
工芸　46
一般教育等・基礎科目　52
修士課程　60
博士後期課程　66
関連施設　72
社会連携センター　74
附属図書館　75
国際交流　76
キャンパス移転について　78
学生生活　80
大学の組織　81
入学試験結果・学費　82
教員一覧　84
活躍する卒業生　86
アクセス　88



金沢21世紀美術館 ヤン・ファーブル《雲を測る男》1998

美術工芸学部

美術科

日本画専攻
油画専攻
彫刻専攻
芸術学専攻

デザイン科

ホリスティックデザイン専攻
インダストリアルデザイン専攻

工芸科

日本画

進化し続ける日本画の世界。
古典を学び、現代における表現を探る。

日本画の表現は、
その長い歴史のなかで
大きく発展してきました。
基礎を丁寧に積み重ね
伝統技術を確実に習得しながら、
自らの表現を切り拓く道筋を探ります。

100年後に残る絵画を目指して

美しい岩絵の具、本質をとらえた表現…この国に伝わる日本画と呼ばれる独自の絵画表現は時代とともに幅を広げつつ進化を遂げてきました。しかしこの表現方法の習得には古来よりさまざまな「画派」の存在が示すように、やる気や根気とともに段階を踏まえた教育が必要でした。本学の日本画では緻密に計算されたカリキュラムで日本画技術の基礎から伝統的表現を経て未来に羽ばたく日本画表現を目指す人材をアシストします。

1年次

精密描写
野菜／草花／岩石／鳥／魚（鯉）／小動物／自画像

古典絵画模写
白描／着彩／臨模

その他実習
デザイン／彫刻I／工芸技法（紙）／郊外写生授業（～4年）

基礎描写
岩絵の具や膠など、日本画の画材の扱いは独特で非常に高度な技術を必要とします。ここでは静物や生物などを精密描写することで、日本画の基礎的技術やものの捉え方などを学びます。

古典
古典の名作を、その紙や絵具・筆使いの表情までを正確に写し取ることで古典絵画の技術を学びます。

2年次

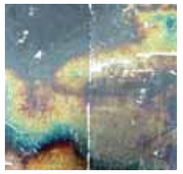
古典基礎技術
絹本／運筆

その他実習
工芸／彫刻II

基礎表現技術
支持体制作／箔技法／裸婦デッサン（～4年）

課題制作
植物／人物／動物／風景

基礎表現技術
日本画制作を支える和紙の裏打ちや水張りやパネル制作などを学び、さらに金属箔や絵絹などの伝統的な技法を学び、自身の制作に活かしていきます。



伝統的基礎技術
写生、下図、草稿（大下図）、本紙制作という日本画独自の制作工程を繰り返し学びながら、日本画独自のものの見方や表現方法を学んでいきます。

その他の特色

少人数制による細かな指導
1学年15人に対して4人の専任教員が指導を行い、3年生からは10名以上の非常勤講師が加わり、学生独自の表現を追求していきます。

写生指導風景

講評会風景

学外活動

写生授業・研修旅行
毎年5月に全学年参加の写生旅行があります。行き先は白馬・上高地・戸隠など信州各地。日本画の基本である写生を通して学年間の交流や技術向上を図ります。また3年もしくは4年次に国内研修旅行を行い、見識を広めます。

郊外写生授業（信州）

郊外写生授業

研修旅行

3年次・4年次

自由課題制作

その他実習
コンピュータグラフィックス

発表制作
公募展、グループ展、個展等出品制作／各種発表／研修旅行（3年もしくは4年）／裸婦デッサン

卒業制作

自由課題制作
自由制作に移り、作品はかなり大型のものも手がける様になります。伝統に基づいたもののみならず、現代に生きる感覚による作品制作も手がけます。技術的にも高度な表現に移ってゆきます。

各種発表
学内展示をはじめ、様々な場での発表を前提にした制作をすすめ、各種公募展などでの入選・受賞をはじめ個展やグループ展などの自発的な場での発表を通して研鑽を積んでゆきます。

卒業制作
4年間の集大成として、これまでの日本画制作で培った考えや技術で自身の世界観を表現します。

卒業後の進路・活躍

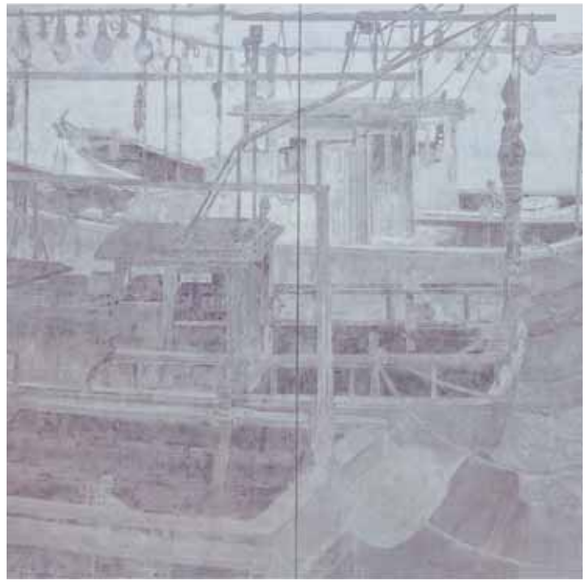
日本画家（日展・院展・創画会等各公募系列他）、大学教員（京都市立芸術大学、佐賀大学、名古屋芸術大学、東北芸術工科大学、京都精華大学、宝塚大学、大阪成蹊大学、崇城大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部 他）全国 小中高教員 学芸員（石川県立美術館、福井県立美術館、名古屋市美術館、MOA美術館、石川県立歴史博物館）文化財保護修復関係機関各種 公立工芸研究機関（九谷焼技術、輪島漆芸 他）造形作家 工芸作家（陶芸、染色、漆芸）、漫画家、イラストレーター、各種デザイナー、映像関係、繊維関係、印刷関係、報道関係、会社経営、流通、販売系
［受賞・発表］日展（会員賞、特選）、日春展（日春賞、奨励賞）、全関西美術展（全関展賞 他）、臥龍桜日本画大賞展（大賞 他）、青垣日本画大賞展（大賞 他）、現代美術展（美術文化大賞 他）、文化庁在外派遣研修員、新風舎えほんコンテスト（優秀賞）、アフタヌーン四季賞（漫画）、院展（奨励賞）、春の院展（奨励賞）、東山魁夷記念日本画大賞展（大賞 他）、上野の森美術館大賞展（特別優秀賞）、三溪展（優秀賞）、京展（京都市長賞 他）、菅盾彦大賞展（大賞、準大賞）、碧い石見の芸術祭全国美術大学奨学日本画展（準大賞）

石引の春夏秋冬
藤田 怜子　H149.5×W205×D3cm

誰かの楽園
森 花　H181.8×W227.3×D3cm

地下道
小倉 太郎　H130.3×W194×D3cm

廻る
服部 秋花　H194×W130.3×D5cm



港
石野 駿平　H177.5×W177.5×D2cm

あき満ちて
新田 彩乃　H194×W259×D3cm

油画

基礎から応用までつながる学びで
世界へ羽ばたく力をつける。

油彩、アクリル、版表現といった絵画表現。
アニメーション、ビデオといった映像表現。
立体、インスタレーションといったミクストメディア。
造形芸術の基本をベースにしながら
それぞれの表現に特化した指導を行います。

基礎力を備えた新時代の芸術活動を担う人材の育成

造形美術における基本的理念を理解させるとともに、高度な油彩画技法を指導し、各自の個性と感性を伸展させます。
新時代の芸術分野での活動を可能にする美術教育をとおして、将来を担う作家として相応しい人材の育成に努めます。

1年次

１年次はデッサン力を養い、油彩画の基本技術を
習得すると共に、他分野の実習を通じて広く美術を学びます。

石膏デッサン
石膏全身像の観察描写をとおして、造形表現の基礎となるデッサンについての理解を深めます。

静物油彩
油彩画の材料・技法・構図等に関する基礎的な知識と技術を習得します。

パネル地塗り・テンペラ画
パネルに白色地塗りを施し、テンペラ技法を実践することにより、西洋絵画技法の歴史と画面の重層構造を学びます。

グリザイユ
無彩色の階調で描いたアンダーペインティングに彩色を施す古典技法を学びます。

アクリル画

人物着衣油彩

2年次

２年次は前学期では西洋絵画の知識・技術についての理解を
進展させ、後学期では授業単元のテーマに沿った課題制作を
とおして表現の可能性を探ります。

フレスコ画
パネル作り・漆喰塗りから描画にいたるフレスコ画の伝統的技法を、巨匠の作品の模写を通して学びます。

キャンバス制作
麻布に膠・白色地塗りを施した、自製キャンバスを制作します。

カマイユ
自製キャンバスを用いて、黄褐色系（シラージュ）による技法を学びます。

インスタレーション
教室外を含む開かれた空間の中で表現することを通じて、事物と空間の多様な関わりを学びます。

アニメーション

版画

様々な授業形態

人体デッサン

パリ研修

現代絵画表現

郊外写生授業

実習を支える設備

石膏デッサン室

絵画技法材料研究室

映像制作室

素材室（立体造形）

3年次

３年次は制作のテーマや技術的な課題を
明らかにするための表現技法研究と進級制作課題によって、
表現の具体化について学びます。

表現技法研究
絵画、映像、立体・インスタレーション等の幅広い手段による表現を試行し、作品制作に繋げます。

進級制作・展示
個々の表現を具体化させ、作品を完成させます。
４年次の卒業制作を視野におき学内ギャラリーにて展示を行います。

絵画表現（油彩、アクリル）

写実的な描写から抽象的な表現の探求まで、
制作のテーマは多岐に渡ります。

映像表現（アニメーション、ビデオ）

紙とペンで描いた動画や、人形、CG、実写等を
駆使して制作に取り組みます。

ミクストメディア・空間表現

平面からインスタレーションを含む空間表現まで、様々な素材や技法を
用いて取り組みます。

4年次

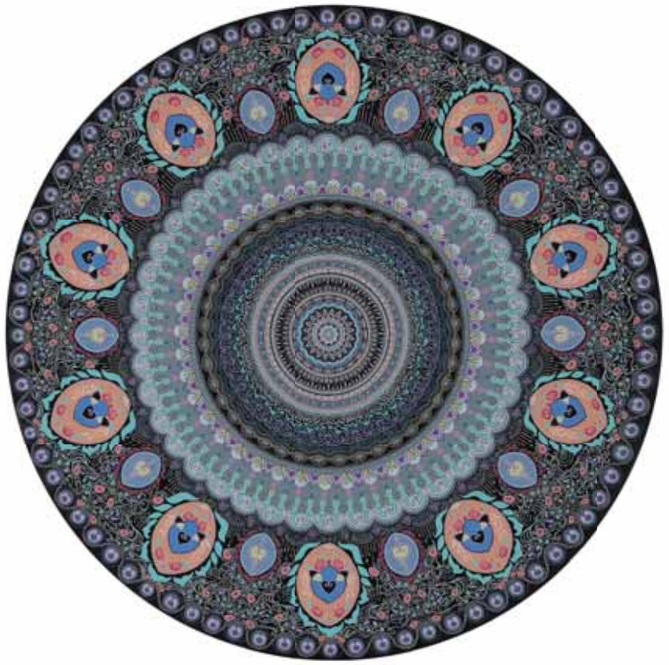
４年次は学内外の専門的な視点による技術指導や作品講評を
得ながら、卒業制作の完成に向けて高い表現力を身につけます。

前期制作・展示
卒業制作につながる実質的な制作に移る中で、制作上の技術的な課題を解決していきます。学内展示をとおして個々の制作に最適な作品サイズや制作期間、展示環境等について検討します。

卒業制作
学生生活の集大成として卒業制作を行います。
完成した作品を金沢21世紀美術館に展示します。

卒業後の進路・活躍

画家、版画家、美術作家、絵本作家、漫画家、美術予備校講師、中学・高校教員、大学教員（茨城大学、群馬大学、福井大学、宮崎大学、広島市立大学、日本大学芸術学部、金沢学院大学、金城大学短期大学）、㈱アサヒサイクル、㈱イマジカデジタルスケープ、㈱エポック、㈱ケイ・ウノ、㈱KYORAKU、㈱グランゼーラ、㈱Cygames、㈱佐藤塗装、㈱ジェー・シー・スタッフ、㈱Jtec ラボ、㈱TBSアクト、ニチイ学館、㈱フェニシス、フィルムデザインワークス、㈱フタバ、㈱北陸花火加工、㈱本田技術研究所、㈱任天堂、㈱モノリスソフト、㈱スタジオコロリド、Ufotable、㈱チップチューン、㈱ヨシダ宣伝、㈱ヨシダ印刷、株式会社カプコン、角川大映スタジオ、カイカイキキ、さくらホーム、四季株式会社（劇団四季）、イマジカデザインワークス、酒井化学工業株式会社**[他大学進学先]**東京藝術大学大学院、武蔵野美術大学大学院**[受賞・発表]**第96回国展（奨励賞・入選・賞候補）、令和3年度みえ文化芸術祭第71回みえ県展（最優秀賞）、第23回雪梁舎フィレンツェ賞展（入選）、第56回関西国展（新人賞・賞候補）、第32回美浜美術展（入選）、ヤングアーティスト公募展「いい芽ふくら芽」in Nagoya（優秀賞）、第38回 福井サムホール展（入選）、2021年美の起原展（準大賞）、シェル美術賞2021（入選）、FACE展2022（入選）、第一回古川美術館Fアワード（スターキャット・ケーブルネットワーク賞）、第78回現代美術展（入選）、六花文庫企画公募展（入選・入賞）



瞼の裏に　高山 桃歌
パネル、化繊布、エマルジョン、アクリルガッシュ　φ200×D4cm

片付けることについて　若松 千花
実写映像 3分

swimming stroke Ⅰ／手相占い　荒山 莉子
キャンバス、油彩、木炭、ジェッソ　H181×W227×D3.5cm

無題　松井 唯
キャンバス、油彩、アクリル、色鉛筆、パステル　H162×W194×D3cm

イバドグ　安藤 翔太
油彩、アクリル、キャンヴァス、木材、釘、紙　H227.3×W181.8×D200cm

孤　浅井 淳哉
デジタル 10分

散策　米田 麻衣
映像 3分16秒

いつかの蝶（中原中也『一つのメルヘン』より）　福地 花凜
パネル、綿布、油彩　H194×W130.3×D3.4cm

彫刻

「自然」と「素材」と「自分」。
新しい表現はいつもそのなかから見つかる。

無限に広がりを見せる
今日の彫刻表現。
たっぷりと時間をかけ
「自然」「素材」「自分」と向き合い
制作に取り組むことで
その可能性を掘り下げ、見つけます。
明日の彫刻を切り拓くために。

「自然」を見つめ「素材」と語り「私のかたち」を求めて

現在、彫刻という表現の形態や解釈は多岐にわたり、限りなく可能性を広げています。彫刻専攻では、自然観察を通して形態の原理を学び追求することや、素材に触れその可能性を最大限に引き出すことを表現の原点として発展させていきます。自然を見つめ、素材と語り、時代を超えていく「私のかたち」を一緒に探しましょう。

1年次

1年次から2年次前期までは基本的な彫刻素材を通した実習により、造形表現の基礎と各種の技法を体得します。

彫刻（一）I・II
自然観察／木彫実習／石彫実習／塑造実習

基礎科目
デザイン演習／映像メディア演習／絵画演習／美術解剖学・日本美術史I・II／東洋美術史I・II／西洋美術史I

自然観察

木彫実習

石彫実習

塑造実習

2年次

2年次後期は、造形理論を深化させながら自己表現の可能性を探ります。

彫刻（二）I・II
金属彫刻実習／複合メディア実習

選択課題：
塑造（人体）／塑造（クレーワーク）／石彫／木彫／金属彫刻／複合メディア

基礎科目
工芸演習／絵画演習／美学／西洋美術史II／色彩論／近代美術史

彫刻論I

金属彫刻実習

複合メディア実習

選択課題

卒業後の進路・活躍

彫刻家、造形作家、小学・中学・高校・大学教員、青山学院大学、金沢星稜大学、京都教育大学、東海大学、秋田公立美術大学、大阪成蹊短期大学、明星大学、愛知県立旭丘高校美術科、金沢市民芸術村、石川県立美術館、碌山美術館、金沢21世紀美術館、金沢森林組合、四季㈱、㈳共同通信社、㈱金沢舞台、劇団俳優座舞台美術、上越クリスタルガラス㈱、スズキ㈱、㈱本田技術研究所、井波彫刻・野村、㈱ウイン・ディー、㈱俄、㈱日産自動車、㈱セガ、㈱東京スタヂオ、㈱コトブキワークス、㈱瑠璃光、㈱桑山、㈱北陸園芸、㈱道具、㈲イズム、㈱カプコン、㈱ピア21、㈱ダヴィンチ、㈱杉田石材、横浜美術大学、北海道教育大学、京都市立銅駝美術工芸高等学校**[他大学等進学先]**愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、京都市立芸術大学、多治見市陶磁器意匠研究所、多摩美術大学、筑波大学、東京藝術大学、富山ガラス造形研究所、広島市立大学**[受賞・発表]**各団体展出品、現代日本彫刻展等コンペ出品

宮永愛子先生による学生指導

野村つよし先生によるワークショップ

学生実行委員による金沢彫刻祭2021

選択制による表現・素材別制作演習　3年次・4年次

3、4年次は素材や表現別に、またはそれらを横断しながら、個人のテーマ、内容を掘り下げ作品の完成を目指します。

彫刻（三）I・II　彫刻論II　彫刻史特講　基礎科目 コンピュータグラフィックス　彫刻（四）I・II 卒業制作

塑造（人体）

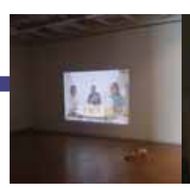
塑造（クレーワーク）

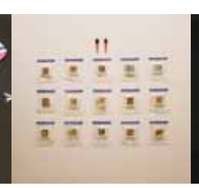
木彫

石彫

金属彫刻

複合メディア





地球への落下錘　石島 基輝
鉄、アルミニウム、ベアリング　H200×W150×D300cm

るるとして岩を思ふ　矩 万紘
堆積岩、能登ヒバ（加賀木材株式会社 提供）　H100×W100×D80cm

A　窪地 朝香
木彫　H204×W68×D53cm

微風　笹井 南海
水性FRP、水性塗料　H90×W150×D80cm

Puma Punk　多々見 草太
鉄、銅、ステンレス　H230×W300×D500cm

彫刻を摂ること　三宅 ひな
岩塩、感熱紙　サイズ可変

陶造地雷菩薩立像　先崎 瑠莉
テラコッタ、欅、金箔、フィリコの蓋　H204×W117×D110cm

母と子　岸 桃子
映像 7分　サイズ可変

芸術学

芸術を広く深く探求し
地域、社会、そして世界への貢献を目指す。

伝統と革新のアートがあるまち、金沢。
その環境を生かした
現代美術領域の「制作」-「批評」「企画」、
先端的な「歴史研究」の交差する教育環境。
その成果を社会に還元できる人材を育てます。

芸術の現代的意義を、グローバルスタンダードの学術研究と領域を超えた横断的な多形式作品制作の実践により探求し社会をリードする

芸術学 ⇒ Sustainable Contemporary Art Practice and Visual Culture Studies（SCAPe）

21世紀の芸術の置かれた複雑多様な社会、経済、文化、環境の問題を理解し、持続可能な社会への希望を発信する実践と視覚文化研究のできる人材を育てます。

1年次

視覚文化史、文化産業学、文化人類学、コミュニティ社会学、科学技術論、市場経営学、持続可能経済学等を横断した現代批評構築や多言語コミュニケーションをスタディスキルの基本として導入します。並行して、市場の現在性に基づく、立体・平面・メディアアート等、多岐に渡る表現形式を媒体とする現代美術領域の実践的理論と創作の探究を行います。

芸術学演習（一）〔グローバル美術理論1〕

芸術学概論〔現代美術領域 多形式制作と理論 基礎〕

彫刻・工芸・デザイン・映像メディアなどの実技

芸術学演習（一）

〔グローバル美術理論1〕

芸術学における研究・調査・議論・発表に必要なスタディスキルの基礎を身につけます。金沢のローカル文化を通してグローバルな視野で考えるために必要な現代批評と重要なポストコロニアル理論を日英語文献で多読し、工房見学などのフィールドワークも行いながら小型プロジェクトを達成します。

梅山窯（中村卓夫）工房見学

芸術学概論

〔現代美術領域 多形式制作と理論 基礎〕

現在の市場性と批評軸を調査し、表現を成立させる多様な社会の背景を理解します。以上をバックボーンとして、ディスカッションやディベートを通しグループワークでの現代美術制作に取り組みます。整合性のある作品とコンセプトで表現の強度を上げる術を学ぶこと、独自性のあるイメージを顕現出来うる基盤を作ることが目的です。

芸術学概論写真

学外研修

- アーティストインレジデンス（専攻研修旅行）
  芸術学演習⑵で行う展示企画を、アーティストインレジデンス（研修旅行）にて公式学外展示として発表し、学内展を含め冊子を作成。キャリアを育成し現場力を養います。
- 留学、大学院進学、研究者への道
  本専攻には海外での教育や活動経験の豊富な教員が、留学、国内外大学院入学、学会発表などへのサポートを行い、研究者となる道も開きます。

2年次

1年次の学際的かつ横断的なアプローチによる研究・制作導入に引き続き、ポストコロニアル理論と視覚文化の問題の理解を深める一方、制作プロジェクトを通して多形式を前提とした現代の美術市場傾向を鑑みた「実践」を行います。

芸術学演習（二）〔現代美術領域 多形式制作と理論 発展　〕

芸術学特講〔グローバル美術理論2〕

絵画・版画・工芸・美術表現などの実技

芸術学演習（二）

〔現代美術領域 多形式制作と理論 発展〕

ひとつの大きな作品として、時事問題や市場に絡めたテーマ等を選んで企画展を立ち上げます。デザイン(編集、アートディレクション等)、企画(ギャラリスト及プロデュース及学芸員)、制作(アーティスト)の3グループのうちいずれかを選択し、交渉や関わりのある模擬社会の中で展覧会を成立させます。自らの適性を探し、技量のみならず現場力を体得しながら専門性を深化させることが目的の総合学習です。

教育の特色①

自分＝社会の意識を強め、グローバル社会に説得力のある多言語と視覚表現を一体化して発信できる基本的なスタディスキルを養います。

芸術学特講

〔グローバル美術理論２〕

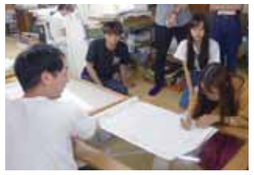
ポストコロニアル理論と文化社会（知の不均衡の力学、国家と人種、表象、ジェンダー、西洋―東洋、東アジアの植民地問題と脱植民、サステナビリティ等）などの批評の視点と方法論を日英語文献の多読を通して学び、議論することで現代の文化社会とアートの問題を考えます。

Guerrilla Girl金美に登場!

芸術学演習⑵ 小林葵『解き』
学部二年-立体インスタレーション
2022年度本学ベルギー交換留学生
（撮影/学部二年 佐藤莉於）

学外活動の支援

美術館・ギャラリー・文化財修理工房などの見学も随時行います。国内外学会への参加や発表、海外の研究や創作動向を直に知るためのワークショップ等へ誘導し就職や留学にもつながるネットワーク作りを促進します。また、学生主体による展覧会の企画、読書会、ディスカッショングループ、社会活動などの学外活動を積極的に支援します。



毎田染画工芸の見学（金沢市）

カルチュラルスタディーズ国際学会
−Cultural Typhoon 2021 The 'Back' Strikes Back「裏」の逆襲

芸術学演習⑵ エスケープ展
2021年度 多形式表現制作

3年次

現代批評と実践の専門性を高め、各自の専門分野を確立します。近現代工芸/デザイン/視覚文化研究領域、現代美術領域ー多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域などからゼミを選び、指導を受け、作品制作、プロジェクト企画、展覧会キュレーション、研究論文発表などを行います。

芸術学演習（三）
専門演習
（近現代工芸／デザイン／視覚文化研究領域、現代美術領域ー多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域など）

絵画・コンピューターグラフィックスなどの実技

芸術学演習（三）

3年次には、卒業論文の足がかりとなるよう、研究対象に応じたより専門的な演習を行います。また、各自が美術品を購入し、それについて多角的な調査・研究に従事する演習もあります。購入品は国内外の絵画、彫刻から工芸品まで、多種多様です。各自研究成果を口頭で発表し、レポートにまとめ、あわせて学内で購入品の展覧会を開催します。

ゼミの例
社会と美術の問題を深堀りする現代美術批評読解ゼミ、工芸科学生と合同で作家ステートメントやキュレーションの練習をするゼミ、多形式制作及び実践的理論に基づく企画展示を行うゼミ、アート市場原理を元にしたキュレーション実践ゼミなどがある。

2021年買い物ゼミの研究展示写真

4年次

3年間に積み上げてきた表現研究、視覚文化研究、市場研究等をもとに確固とした研究意義のあるテーマを各自で選び卒業研究に取り組みます。多形式による作品制作またはアートプロジェクト企画などの実践と論文を組み合わせた研究を完成させ、成果は金沢21世紀美術館での卒業制作展で展示すると同時に公開講演を行います。

芸術学演習（四）
専門演習
（近現代工芸／デザイン／視覚文化研究領域、現代美術領域ー多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域など）

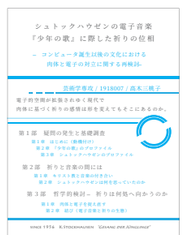
卒業研究〔論文／制作〕

芸術学演習（四）

各自が主体的に設定したテーマを担当の指導教員の個人チュートリアルを受けながら発展させ、卒業研究（論文／制作）として完成させます。途中、口頭発表を何度か行うことで客観的な視野を蓄えます。作品制作またはアートプロジェクト企画などの実践と論文を組み合わせた学術的に高度でかつ卒業後に即戦力となる成果を目指します。

教育の特色②

芸術が果たす社会的役割の可能性を、創造的な実践と学際的な芸術学で開拓し、美術作家、批評家、キュレーター、研究者としてリーダーシップがとれる人材を育成します。

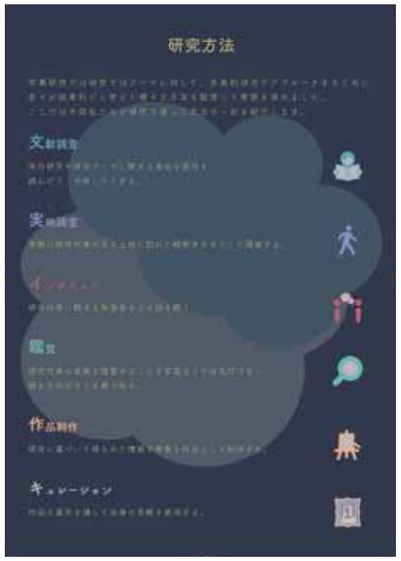


高木三桃子

卒業後の進路

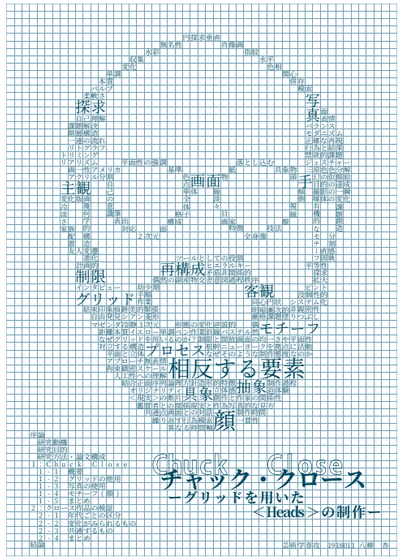
愛知県陶磁資料館、石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、伊丹市美術館、うつのみや妖精ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、九州国立博物館、黒部市美術館、公益財団法人鍋島報效会 微古館、国立工芸館、静岡市美術館、女子美術大学歴史資料展示室、福井市自然史博物館分館、福島県立博物館、敦賀市立博物館、東京国立博物館、東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館、富山県水墨美術館、富山県美術館、豊田市美術館、名古屋市美術館、福井県立美術館、福岡アジア美術館、古川美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北海道立近代美術館、北海道立釧路芸術館、ポーラ美術館、柳宗理記念デザイン研究所、横須賀市美術館、横浜美術館、和歌山県立美術館、ヴァンジ彫刻庭園美術館、リンカーン群歴史協会（アメリカ合衆国）、東京藝術大学、福井大学、和光大学、公立および私立中・高等学校美術教員など［他大学進学先］九州大学、京都市立芸術大学、群馬県立女子大学、慶應義塾大学、神戸大学、昭和女子大学、総合研究大学院大学、千葉大学、中京大学、筑波大学、東京学芸大学、東京藝術大学、東京大学、東北大学、ニューヨーク大学、ブレーメン美術大学、ロンドン大学など

Sustainable Contemporary Art Practice and Visual Culture Studies



卒業研究 論文と制作　展示風景

安野 花菜



八柳 杏

押野 みのり

津村 卯乃

藤田 真央 『「わからない」を問い続ける』

並木 萌々花

ホリスティックデザイン

コミュニケーションから場のデザインまで、
様々な専門領域とその関係性を学ぶ 。

多様なデザインスキルを基礎に
全体的な視点を持った創造力、
異なる専門領域を行き来し
自ら課題を探し出す力、
新たな価値を発見し
より良い未来を構想する力を育みます。

新しい時代のデザインをめざして

広告、パッケージ、本、映像、ゲーム、商品開発、ファッション、ブランディング、空間、景観、建築。11のデザインを通してデザインの世界を広く捉え、そこから自分自身の得意な領域を見つけ探求するカリキュラムを組んでいます。様々なデザインのスキルや視点、それらの関係性を学び、変化する社会、多様性が重視される現代にふさわしいデザイナーの育成を目指します。

Basic Design 1 基礎1 1年次

デザインの基礎を学ぶ
自分自身のデザイン力を耕す

描出、形態、色彩、発想、素材、情報など
デザインの基礎を総合的に学びます。

ホリスティックデザイン演習（一）

色彩演習　素材演習

形態演習　情報演習

色彩演習「シルクスクリーン」

素材演習「ナチュラルマテリアル」

形態演習「構造と機能」

情報演習「コンピュータ基礎」

金沢スタディ

ゲーム課題

Basic Design 2 基礎2 2年次

視野を広げ、想像力を育む
自分自身のデザインの世界を広げる

選択式の演習が加わり、
さまざまなデザイン領域の基礎を実践的に学びます。

ホリスティックデザイン演習（二）

デザインプロセス演習

デザイン論

ファッションポートレイト

パッケージデザイン

ウィンドウディスプレイ

ソーシャルデザイン

場のデザイン

アイデンティティ

卒業後の参考進路（現視覚デザイン専攻）

アイレムソフトウェアエンジニアリング㈱、㈱アサツーディ・ケイ、㈱アドブレーン、ORBIS㈱、花王㈱、㈱加納デザイン事務所、キリンビバレッジ㈱、㈱クボタ、㈱湖池屋、㈱コーエーテクモゲームス、コナミ㈱、㈱Cygames、㈱サイバーエージェント、㈱サンリオ、㈱GA technologies、㈱ジェー・シー・スパーク、㈱資生堂、シャープ㈱、スーベニール㈱、㈱セガ、ソースネクスト㈱、ソニー㈱、㈱ソニー・コンピュータエンタテインメント、㈱大広、㈱DMM.Com、㈱TBSテレビ、㈱タカラトミー、㈱たき工房、㈱DNP住空間マ テリアル、㈱DNPデジタルコム、㈱DNPメディアクリエイト、㈱DNPデジタルソリューションズ、㈱テレビ朝日、デンソーテクノ㈱、㈱電通、凸版印刷㈱、トヨタ自動車㈱、㈱ドワンゴ、㈱日本デザインセンター、日本郵便㈱、任天堂㈱、㈱博報堂、㈱博報堂プロダクツ、㈱阪急デザインシステムズ、㈱バンダイナムコスタジオ、パナソニック㈱、㈱ピークス、㈱ビズリーチ、㈱日立製作所、㈱ピボット、㈱flaggs、㈱ブラビスインターナショナル、本田技研工業㈱、三菱電機㈱、㈱メルカリ、ヤフー㈱、㈱リクルートコミュニケーションズ、㈱リッチェル、㈱リュウズ、1-UPスタジオ㈱

学外活動（現視覚デザイン専攻・現環境デザイン専攻での取組み）

地元の銀行でのプレゼンテーション

産学連携事業「パッケージデザイン提案」

産学連携事業
「ウィンドウディスプレイデザイン提案」

産学連携事業
「金沢村田製作所イルミネーション」

Applied Design 応用 3年次

専門的スキルを横断的に学ぶ
自分自身の得意分野を形成する

選択式の演習により、異なる領域を横断的に、
または同系統の領域を縦断的にデザインの応用を学びます。

ホリスティックデザイン演習（三）

ホリスティックデザイン特論

デザインマーケティング

インフォグラフィックス

テストマーケ

ビジュアルアイディア

くらしの未来

ショップ空間

プレゼミ

Practical Design 実践 4年次

課題を抽出し、社会へ発信
自分自身のテーマを確立する

デザイン演習のまとめとして卒業制作に取り組みます。

ホリスティックデザイン演習（四）

スタートデザイン

研究活動

卒業制作／映像・ブランディング

卒業制作／ゲーム

卒業制作／空間と体験

卒業制作／建築・ランドスケープ

卒業後の参考進路（現環境デザイン専攻）

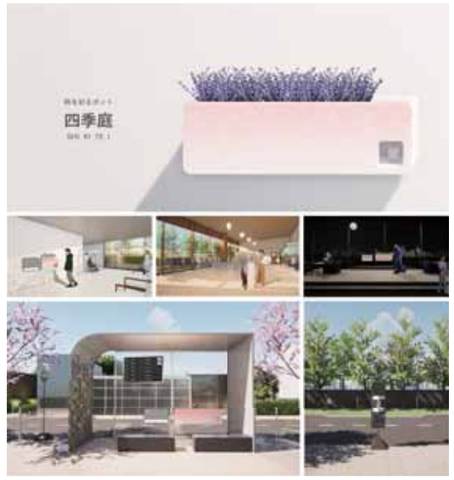
イケア・ジャパン㈱、㈱イリヤ、㈱NHKアート、㈱遠藤照明、王子製紙㈱、㈱オカムラ、㈱オリバー、海法圭建築設計事務所、関西ペイント㈱、京浜急行電鉄㈱、ケイミュー㈱、㈱五井建築研究所、コクヨ㈱、㈱コトブキ、コマニー㈱、三協立山アルミ㈱、劇団四季〔四季㈱〕、㈱GK設計、ジーク㈱、㈱j.フロント建装、㈱資生堂、㈱ジャクエツ、スズキ㈱、snow peak㈱、㈱スペース、積水樹脂㈱、㈱船場、ソニー㈱、大建工業㈱、大和ハウス工業㈱、㈱タカショー、㈱丹青社、TOTO㈱、タカラスペースデザイン㈱、㈱DNPコミュニケーションデザイン、㈱戸田芳樹風景計画、トヨタ自動車㈱、トヨタホーム㈱、ナカダ㈱、日本テレビ放送網㈱、日本放送協会（NHK）、NEXCO西日本グループ、㈱乃村工藝社、㈱ノムラデュオ、㈱博展、㈱博報堂プロダクツ、長谷川豪建築設計事務所、パナソニック㈱、パナソニックホームズ㈱、㈱フジテレビジョン、㈱フジヤ、本田技研工業㈱、㈱ミキモト、ミサワホーム㈱、三菱電機㈱、三菱地所ホーム㈱、ムラヤマ㈱、ヤフー㈱、㈱LIXIL、YKK AP㈱

n×n　加納 楓花　漫画

MIND　中村 光輔　インテリア／ワークチェア

ゆくも文庫の！デザインブック　行本 美晴　学習雑誌

B-MONSTERS ～メカメカあたまと奇跡のスパナ～
山元 太陽　架空ロールプレイングゲーム



四季庭　熊野 もも　プロダクト／フラワーポット

夜とためいき　伊藤 さと　短編漫画集

出会うための手法の研究　深田 詩織
コミュニケーションデザイン

écru.　藤田 しずく　空間デザイン／プロダクト

インダストリアルデザイン

柳宗理が推し進めた工房教育と
進化するカリキュラムで、
未来のプロダクトの姿を描く。
実践と検証を繰り返し、力を伸ばす。

自ら手を動かしながら
素材と技術を学び感性を磨く工房教育は、
バウハウスからの流れを継ぐもの。
社会情勢や生活環境の変化を捉えたカリキュラムで、
論理的思考、探求力、表現力、伝達力を強化します。
仮説から実験と改良を繰り返す
検証的デザインプロセスをとおして、
プロフェッショナルなデザインスキルを身につけます。

「手で考え、心でつくる」を理念に、知性と感性豊かなプロのデザイナーを目指す

社会的ニーズに応える広い視野と解決力を持ち、コミュニケーション能力が高く、時代に敏感な創造性と造形力あふれるデザイナーを養成します。日用品や家具、電気製品、情報機器、公共用品、自動車などのデザインを扱います。様々な素材加工技術や思考プロセスを体験的に学び、理論を構築し、リアリティを持って社会の要請に応えうる、人間に対する理解とチャレンジ精神に満ちたデザイナー・研究者・教育者の育成を目指しています。

Basic Training　1年次

デザインの基礎を学ぶ

基礎造形、表現、技術を学びます。デザイン科3専攻共通の課題もあります。工房教育として、金属、木材、プラスチック等の素材加工技術、塗装などを学びます。

インダストリルデザイン演習（一）

描出演習　形態演習　色彩演習
材料学演習　アイディアデベロップメント

インダストリアルデザイン演習(一)／基礎造形

アイディアデベロップメント

形態演習／透過する造形

写真演習

材料学演習（プラスチック）

材料学演習（石膏）

材料学演習（塗料）

材料学演習（金属）

Design Elements　2年次

インダストリアルデザインの要素を学ぶ

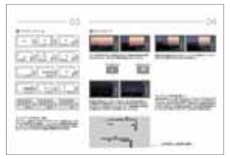
専門的なデザインスケッチやモデル制作の技法を学びます。製品の機能、素材、構造、詳細から造形を考えます。

インダストリルデザイン演習（二）

コンピュータ演習Ⅰ 3D　デザインプロセス演習
インターフェースデザイン

インダストリアルデザイン演習(二)／コンセプトとカタチ

デザインプロセス演習/サービスデザイン


インダストリアルデザイン演習(二)／機能(GUI)

インターフェースデザイン

インダストリアルデザイン演習（二）／素材と構造と接合法

インダストリアルデザイン演習（二）／行為・動作のデザイン（UCD）

コンピューター演習／CAD

社会連携事業

金沢マラソン2021完走メダルデザイン／金沢市

メガネ部活動2022 IOFT展示／福井県眼鏡協会

デザイントライアル／石川県

デザイン開発体験塾／金沢市

学外活動

しいのき迎賓館にて「 Visionary thinking 」展オープニングイベント開催

しいのき迎賓館にて「Visionary thinking」展開催 産学連携 PJ スカパーJSAT&スズキ

企業見学研修／YKK

学外研修／白山ろく民俗資料館見学

Technical Knowledges　3年次

インダストリアルデザインのプロセスを通して手法を学ぶ

製品の調査、企画、デザイン、試作まで一貫したインダストリアルデザインのプロセスを通して手法を学びます。産学連携プロジェクトや、企業インターンシップへの参加など、より社会における実践に近い形でプロのデザイナーの仕事を体験します。

インダストリルデザイン演習（三）

人間工学　デザイン工学
コンピュータ演習Ⅱ GUI

インダストリアルデザイン演習（三）／椅子のデザイン

インダストリアルデザイン演習（三）／家電のデザイン

インダストリアルデザイン演習（三）／モビリティーのデザイン

インダストリアルデザイン演習（三）／情報機器のデザイン

Comprehensive Products　4年次

インダストリアルデザインの応用として視野を広げ、必要なテーマを自身で発掘し解決に導く

インクルーシブデザイン演習、応用演習のまとめとして卒業制作に取り組みます。

インダストリルデザイン演習（四）

卒業制作　デザインマーケティング
意匠法規

スタートデザイン

インダストリアルデザイン演習（四）／社会連携

インダストリアルデザイン演習（四）／公共用品のデザイン

卒業制作展（金沢21世紀美術館）

卒業後の進路

アイシン精機㈱、愛知㈱、アイリスオーヤマ㈱、アクセンチュア㈱、㈱アシックス、いすゞ自動車㈱、井関農機㈱、㈱イトーキ、㈱INAX、NEC㈱、㈱オカムラ、オリンパス㈱、貝印㈱、カシオ計算機㈱、㈱カネカ、河淳㈱、キャノン㈱、㈱クボタ、㈱ケイテック、コクヨ㈱、サンデン㈱、ソースネクスト㈱、㈱GK京都、㈱GKダイナミックス、㈱JVCケンウッド、シチズン時計㈱、㈱島津製作所、㈱シマノ、シャープ㈱、伸晃化学㈱、スズキ㈱、㈱SUBARU、セイコーインスツル㈱、セイコーウオッチ㈱、象印マホービン㈱、ソニー㈱、ダイキン工業㈱、大建工業㈱、ダイハツ工業㈱、㈱タニタ、㈱デンソー、㈱デプロ・インターナショナル・アソシエイツ、㈱東芝、トヨタ自動車㈱、トヨタ車体㈱、豊田自動織機㈱、ナトコ㈱、㈱ニコン、日産自動車㈱、㈱日産テクノ、㈱任天堂、パイオニア㈱、パナソニック㈱、㈱バンダイナムコスタジオ、㈱日立製作所、㈱PFU、ブラザー工業㈱、㈱ホンダアクセス、㈱本田技術研究所、マツダ㈱、㈱ミクシィ、ミズノ㈱、三菱電機㈱、㈶柳工業デザイン研究会、ヤマハ㈱、ヤマハ発動機㈱、㈱LIXIL、㈱リコー、㈱リッチェル

和紙を用いた軽く頑丈な低座椅子 -甲虫の鞘翅構造の応用-　松野 修誠

tsukumo 地場産業を利用した「食育」を助ける給食食器の提案　箒 佑伽

METRO POD 次世代型スマートシティにおける新たな交通機関の在り方　木下 航輔

雨の器 雨の景色を楽しむ装置の提案　齋藤 柚香

Iko 高齢者の短距離移動を支える小型モビリティの提案　實渕 諒

lugg 電動アシスト自転車とバッテリーの新しい活用方法　中根 康博

Treppe クローゼット周りをサポートするステップハンガーラック　島崎 紗栄

espr.le こころのリズムを整えるサーカディアン照明　中根 海人

親しい人と繋がるハト時計　山下 聖奈

工芸

陶磁／漆・木工／金工／染織

伝統と革新の現場が、ここにある。
金沢で学ぶ、工芸の最先端。

伝統技術が生きるまちで
さまざまな素材と技術に触れることで、
つくり手の表現力を高めます。
時代の思考を適切にとらえる感性は、
新たな美を創出します。
新しい工芸の世界を拓き、
世界へとつなげる架け橋となる力を育みます。

新しい工芸の世界を切り拓く人材の育成を目指します

工芸科では大学4年間の前半で各種伝統技法や素材について学び、特に工芸に対する知識と技術の習得を目指します。後半では「表現力と創造性」をキーワードとし、陶磁、漆・木工、金工、染織の各コースの特色をいかしながら相互に連携を保ち、専門課程を軸とした研究に取り組みます。本学士課程をとおして、世界に通ずる工芸作家やデザイナー、研究者、指導者を育成することを目指します。

1年次

「基礎と体験」ととらえ、
工芸のあり方を模索します。

工芸演習（一）　描出演習　形態演習
色彩演習　写真演習　デザインプロセス
材料学演習（石膏）　工芸概論Ⅰ
伝統文化論　コンピューター演習Ⅰ

1年次は工芸の基礎を習得すると共に、陶磁、漆・木工、金工、染織の各コースを体験し広く表現力を養います。

材料学演習（石膏）

工芸演習（一）陶磁

古美術演習

工芸演習（一）漆木工

デザインプロセス

工芸演習（一）金工

形態演習

工芸演習（一）染織

2年次

「素材と技術」ととらえ、
専門分野の知識と技術を養います。

工芸演習（二）　現代工芸論Ⅰ　デザイン演習Ⅰ
古美術演習　コンピュータ演習Ⅱ
地域工芸演習Ⅰ（社会研究）

陶磁コース

２年生では陶磁の基礎と表現媒体としての土の可能性を学びます。３年生では造形表現とデザイン展開を実践的に学びます。九谷焼の土壌を踏まえた技術習得に加え陶磁器による新たなモノづくりを模索し続ける、時代を見据えた次世代の表現を切り拓く人を育成します。

漆・木工コース

２年生で漆芸の基礎を学び、３年生では素材や技法の展開と応用、さらに４年生では表現を目的とし、現代における漆・木工芸の可能性を探ります。また伝統や現代あるいは地域や文化など広い視野で時代を捉え、将来広く活躍し得る人材の育成を目指します。

金工コース

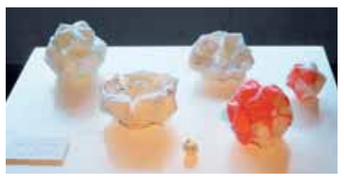
現代の生活や社会の環境、情勢など世の中の動きを見据えながら、金属の特性を活かした鋳金、鍛金、彫金技法を習得し、豊かな表現力を養います。マンツーマン教育を通じ、次世代を担う人材の育成を目指します。

染織コース

当地は加賀友禅の産地であり、また合成繊維の製造・加工に関して、質・量ともにトップレベルの産地です。本コースでは伝統から先端にいたる幅広い技術の習得、造形的表現やデザイン理論に軸足をおきながら、マンツーマン教育を通して新たな時代のモノづくりを目指します。

学内活動

デザイン演習Ⅱ


複合素材演習

制作研究会

学外活動

地域工芸演習Ⅱ（産地研修）

伝統文化論（能楽）

伝統文化論（華道）

卒業制作展

3年次

「自己発見」の期間として、
表現力と創造力を深めます。

工芸演習（三）　現代工芸論Ⅱ
デザイン演習Ⅱ　複合素材演習
地域工芸演習Ⅱ（産地研修）

4年次

「創造性」をキーワードに、伝統に学び、
新しい工芸の世界を開いていきます。

工芸演習（四）

卒業後の進路・活躍

赤木明登うるし工房、アッシュ・ペー・フランス㈱、㈱アックス、石川県工業試験場、石川県立九谷焼技術研修所、石川県立山中漆器産業技術センター、石川県輪島漆芸美術館、㈱INAX、宇仁繊維㈱、AMD㈱、大阪産業大学、鹿児島大学、上出長右衛門窯、グンゼ㈱、㈱ケイ・ウノ、劇団四季（四季㈱）、㈱小西美術工藝社、㈱サンゲツ、セーレン㈱、セイコーインスツル㈱、ソニーPCL㈱、高岡デザイン・工芸センター、竹内プレス㈱、田崎真珠㈱、多治見陶磁器意匠研究所、㈱たち吉、tamaki niime、TBカワシマ㈱、東リ㈱、㈱とみひろ、富山県繊維試験場、西川産業㈱、㈱ニッコー、NIWAKA、白山陶器㈱、㈱バンダイ、飛騨産業㈱、福井県工業技術センター、独立行政法人造幣局、本田技研工業㈱、㈱SUBARU、㈱二上、㈱保志アルテマイスター、㈱ミキモト装身具、㈱山崎麻織物工房、㈱ヨーガンレール、Los Angeles County Museum of Art、㈱ワコール、1-UPスタジオ㈱、スズキ㈱、㈱エーアンドエス、匠楽大竹仏壇製作所、金沢卯辰山工芸工房**[受賞・発表]**アートアワードトーキョー丸の内2012 シュウウエムラ賞、第50回日本クラフト展 日本クラフト大賞・経済産業大臣賞、2012伊丹国際クラフト展（酒器・酒盃杯）奨励賞（ユーアイ賞）、第45回伝統工芸日本金工展新人賞、第39期国際瀧富士美術賞、第25回全国染織作品展奨励賞、新潟雪梁舎美術館「KOGEI 2021」（育成賞・審査員賞）、「KOGEI 2022」（大賞・審査員賞）、第78回金沢市工芸展（世界工芸都市宣言記念賞・工芸協会会長賞・青年会議所理事長賞・金沢市長奨励賞）、第14回現代手織物クラフト公募展　グランプリ・長野県知事賞

門出　荒木 いちご
陶器、竹　H60×W50×D60cm

Clear my mind　新美 える結
漆、金粉、麻布、スタイロフォーム　H120×W120×D20cm

BEYOND THE VISIBLE　岩田 加奈恵
鉄、銅、真鍮　H100×W240×D60cm

左「Bloom」 右「Conceal」　清瀬 鈴
漆、檜、麻布、貝、卵殻、色漆、銀粉、金粉　（左）H10×W10×D10cm（右）H10×W10×D10cm

Assembled forms #7,#14,#13　遠藤 加央里
陶器、釉薬、顔料　（左）H18×W16×D7cm（中央）H17×W24×D10.5cm（右）H22×W24×D7cm

for　花井 円香
ブロンズ　H30×W55×D37cm

魚骨　矢賀 紀蓉佳
絹布、デルクス染料　H175×W135×D1cm

うつせみ　おう さんさん
羊腸　H250×W180×D150cm 1個、H90×W60cm 5枚

一般教育等／基礎科目

金沢城 石川門

一般教育等

より自由に、
より創造的であるために。

ギリシア神話から人新世まで。
文化、歴史、科学を学ぶ。
心と身体の動きに気を配る。
社会的な課題に想いを馳せる。
リベラル・アーツが育む知性と感性は
いつの時代も本物のアーティストの証明です。
少人数・実践重視の外国語教育（英仏独伊中）は
異文化理解と海外留学へのパスポート。
教職課程と学芸員課程は卒業後の進路の幅を広げています。

Curriculum

〈一般教育〉

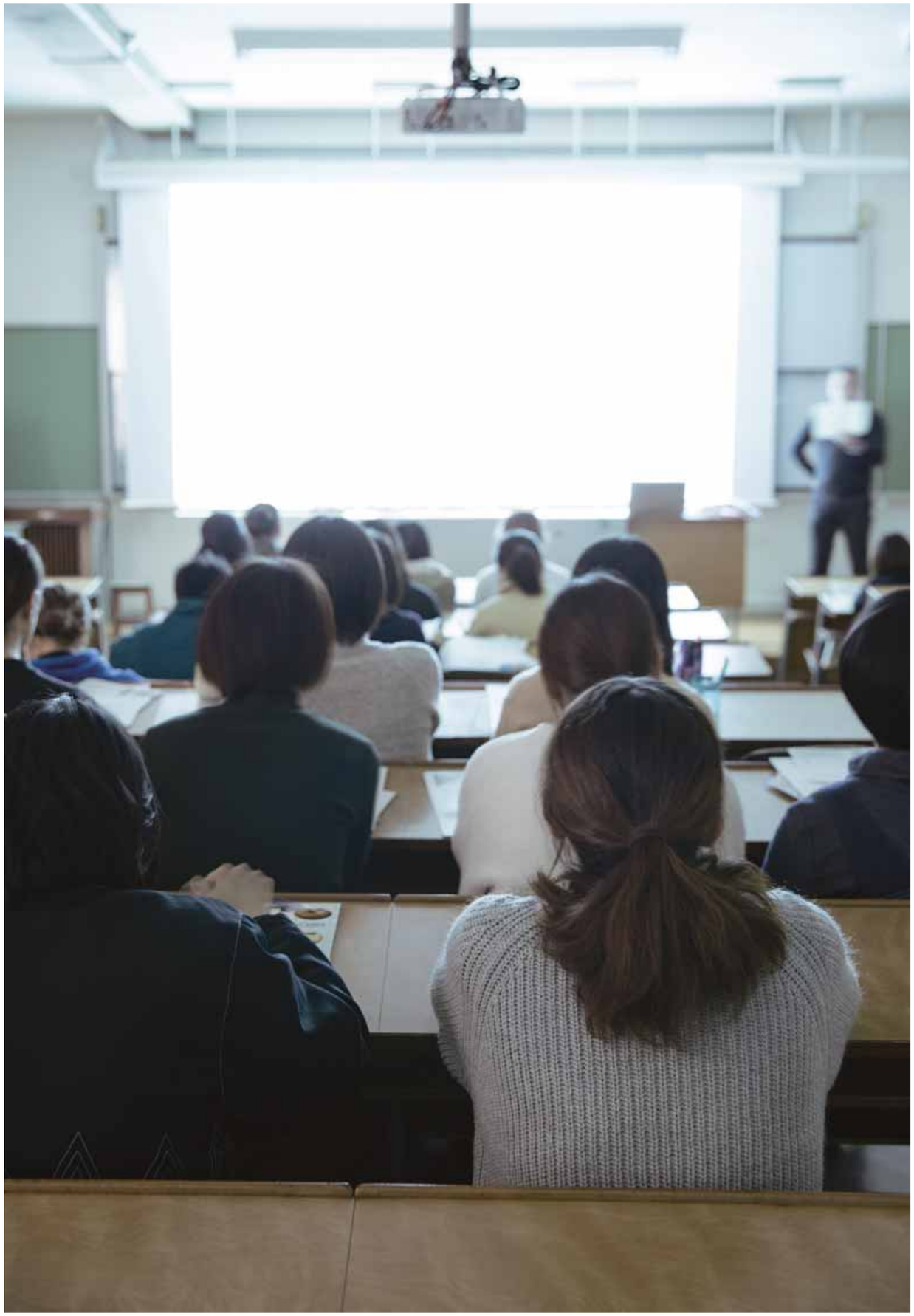
哲学	人間と文化	エコロジー
心理学	フレッシュマンセミナー	科学技術史
社会学	博物館概論	数理科学
歴史	金沢の文化行政	英語
日本国憲法	キャリアデザイン	フランス語
文学	スポーツ科学	ドイツ語
文化人類学	物質の科学	イタリア語
考古学	材料の科学	中国語
生涯学習概論	情報処理	体育実技

〈教職科目〉

教育の本質と目的	総合的な学習の時間の指導法
教育心理学	美術教育法
教職論	工芸教育法
教育課程論	教育制度と社会
教育方法論・特別活動の指導法	生徒指導・進路指導の理論と方法
教育とICT活用	教育実習事前事後指導
特別支援教育概論	教育実習
道徳教育の指導法	教職実践演習
教育相談の基礎と方法	

〈博物館科目〉

博物館概論
博物館資料論
博物館経営論
博物館展示論
博物館資料保存論
博物館情報・メディア論
博物館教育論
博物館実習



基礎科目

専攻の枠を超えて理論と実技を学ぶ。
そこにはいつも新たな発見がある。

表現の手法が拡張し、融合していく時代。
金沢美術工芸大学は、
そのはじまりから
専攻の枠を超えて学ぶことを
大切にしてきました。
すべての表現の根底にある本質を学び、
創造力の基礎を培います。

Curriculum

美学	デザイン心理学	デザインI	工芸I（金工）	造形表現工房IV
日本美術史I	建築論	（ゲームデザイン）	工芸II（陶磁）	（素材・技術／素材技術研究）
日本美術史II	専門英語演習	（ファッションコミュニケーション）	工芸II（ガラス）	（素材・技術／現代美術ミクストメディア）
東洋美術史I	専門語学（英仏独伊中）	（映像）	工芸III（木工）	（素材・技術／芸術と科学）
東洋美術史II	芸術と批評	（写真）	工芸III（漆・木工）	造形表現工房V
西洋美術史I	保存修復概論	デザインII	工芸IV（染織）	（社会環境／アートプロジェクト）
西洋美術史II	絵画I（素描・模写）	（椅子）	映像メディア	（社会環境／地域連携演習）
近代美術史	絵画I（素描・人体）	（ステーショナリー）	コンピュータグラフィックス	（社会環境／景観形成・造園演習）
工芸史I	絵画II（版画）	（ファッション）	版画	（社会環境／社会教育・美術教育）
工芸史II	絵画III（日本画）	（日用品）	工芸技法（紙）	造形表現工房VI
美術工芸持論	絵画III（油絵）	デザインIII	現代美術演習	（語学・理論／美術教育ゼミナール）
美術解剖学	絵画III（フレスコ）	（ディスプレイ）	造形表現工房II	（語学・理論／芸術と言語表現）
図学	彫刻I（塑造）	（建築）	（平面／銅版画技法）	（語学・理論／工芸作品展示と言語表現）
色彩論	彫刻II（彫造）		造形表現工房III	
			（立体／彫刻表現）	

大学院

修士課程

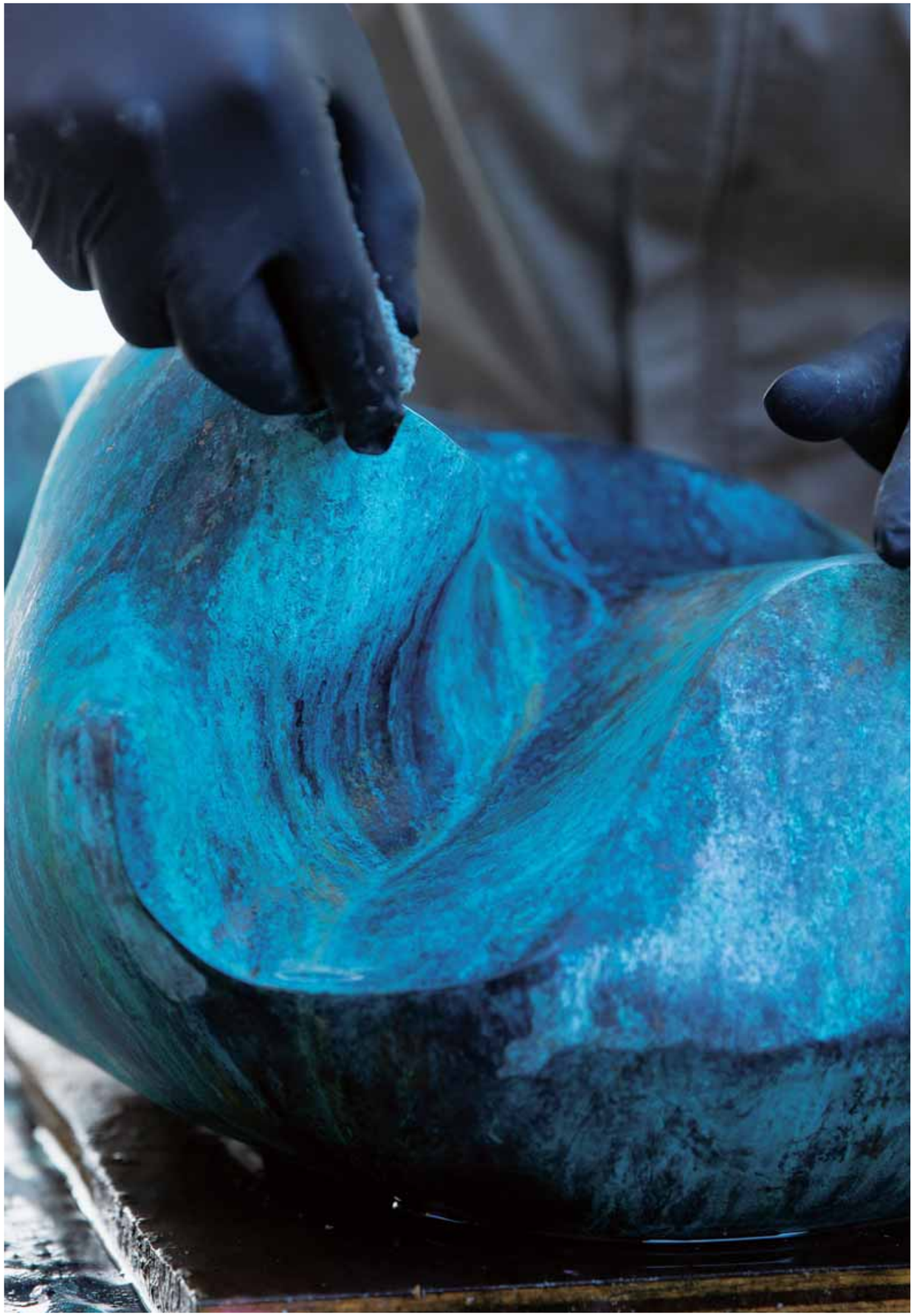
博士後期課程

金沢21世紀美術館 レアンドロ・エルリッヒ《スイミング・プール》2004

修士課程

専門性を高め
学問に通じる道を拓く。

実践のなかに理論を見出し、
理論から実技へ発展させます。
相互に学びを高めることで、
作品と理論を深化させていきます。
国際的に開かれた環境で
切磋琢磨を重ねる、創造と研究の場です。



美のなかに真、技のなかに智、学のなかに人あり

大学院修士課程は、博士前期課程としても位置づけられており、「広い視野に立って精深な学識を授け、芸術の各分野における創造、表現もしくは研究能力または芸術に関する職業等に必要な高度な能力を養う」ことを目的としています。学部での研究・制作を基礎とし、さらに専門分野・専門領域のより高度な研究・制作を自らの研究テーマに沿って行います。博士後期課程において求められる学識や能力の形成も視野に入れ、語学・論文作成能力の育成にも配慮したカリキュラムが編成されています。1979年の大学院修士課程設置以来、他大学出身者や外国人留学生も多く在籍し、自由で開かれた制作・研究の場となっています。

絵画専攻

日本画コース・油画コース・映像コースの3つの研究分野があります。「日本画制作」、「油画制作」、「映像制作」等の実技演習を中心にすえ、一方で、「絵画特論」、「映像特論」をはじめとして、「美術史特講（日本、東洋、西洋）」や「美学・芸術学特講」など理論面でも充実しています。絵画・映像の理論および技術をより専門的に探究するとともに、今日の表現にも目を向け、自由な発想のもと多様化する美術の展開に対応しています。

工芸専攻

陶磁、漆・木工、金工、染織の4コースがあり、金工と染織はさらに2分野に分かれ、6専門分野で構成されています。恵まれた環境のもと、技術的、造形的に、高度な研究ができるよう配慮されています。実技・演習に重点を置きつつ、理論的造形思考を高めるために「工芸特論」、「地域文化論」をはじめとして10理論科目が開講されています。常に伝統と現代を追求すること、素材に対する新たな挑戦が期待されています。

彫刻専攻

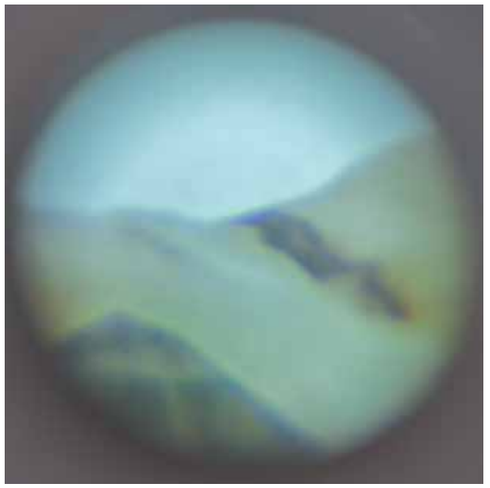
彫刻コースでは、塑像、木彫、石彫、金属彫刻を、環境彫刻コースでは、インスタレーション、コンセプチュアルな創造、ジャンルを横断した造形に対応する制作を行っています。理論科目では、都市空間、公共空間、自然空間の中での立体造形について考察し、多様化する現代美術の展開についても思考を重ねています。伝統的表現技法を追求しつつ、自由な発想のもと創造の世界を広げ個性的な作品を生み出すことを目指しています。

デザイン専攻

視覚デザイン、製品デザイン、環境デザインの3つのコースがあり、現代社会とデザインの様々なテーマに即した実践的な演習が設けられています。また研究の深化には造形の基礎と展開及び方法論が不可欠であるという認識のもと、理論科目も用意されています。博士後期課程への進学の道が開かれています。修了後は、研究者、教育者、ディレクター、デザイナーとして活躍しています。

芸術学専攻

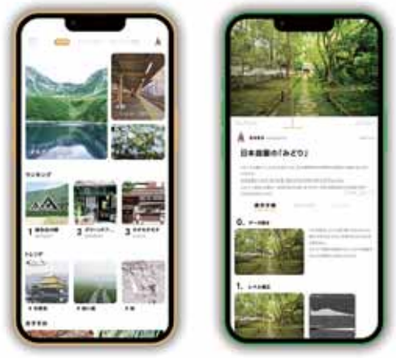
美学・現代評論、現代美術領域制作・理論、視覚文化研究・近現代工芸史、日本・東洋美術史、西洋美術史の5つの研究分野をおき、演習・特講によって専門研究を行っています。また分野にとらわれない総合的・学際的関心を育成するための「芸術学特論」、美術大学の特色を生かした技法・素材研究のための「美術技法研究」なども設けられています。公開の研究発表を重ねながら学術的に高度なレベルの修士論文を制作し口頭発表することが課せられています。金沢の様々な美術館・博物館を活用した授業、国内外の実地調査、展示企画等の指導も行い、理論と実践を兼ね備えた美術の専門の研究者の育成を目指しています。修了生は学芸員をはじめとして広く美術の分野で活躍しています。博士後期課程進学、海外留学を選ぶ学生も多くいます。



絵画専攻　「あの山は何かいるらしい」　吉川 永祐

彫刻専攻　「微風」　笹井 南海

工芸専攻　「変容するかたちⅡ」　邱 嘉文



FiLSTER
フィルスター

レタッチで、世界をより美しく見る。
写真・レタッチ勉強サポートアプリ

デザイン専攻　「FiLSTER 誰でもレタッチを気軽に学べるプロジェクト -写真共用サービスに関するUI/UX研究-」　詹 雅晴

大学院 絵画専攻 映像コース

広く映像文化を学び、映像表現を探求します

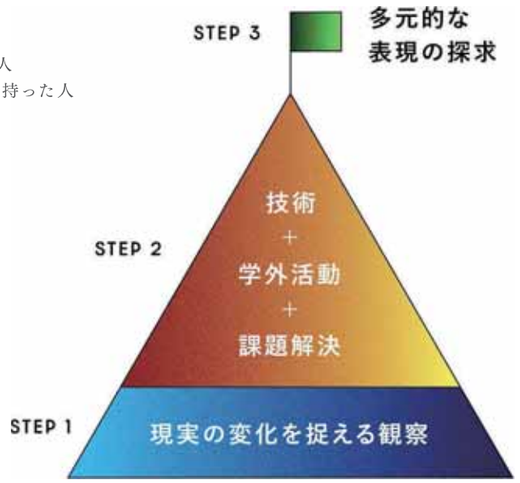
アニメーション、映画、ゲーム、メディアアートの専門家による講義、フィルムメディアとデジタルメディアの撮影・編集を学ぶ演習、セット撮影・録音・カラーグレーディング・上映の各機能が整うコース教室及びメディアセンター内スタジオ群を利用した作品制作を通じて、映像表現について総合的に研究します。

教育目標

現実の変化を捉える観察を基礎とし、多元的な映像表現の探求を目標とした教育研究を行います。制作・研究の場では技術の修得によって映像表現についての見識を深めるとともに、作品の完成に向けて丁寧に課題の解決を目指します。学外での作品発表を奨励し、専門領域の研究についての助言を与え、作家、研究者として国際的に広がる映像文化と地域社会の発展に寄与する人材の育成に努めます。

求める学生像

○ 映像に関する知識と技術を用い、自主的に研究制作が行える人
○ 高度な表現技術を求め、研究成果を国際的に発信する意欲を持った人
○ 映像文化や地域社会の発展に高い目的意識を持って臨む人



主な科目

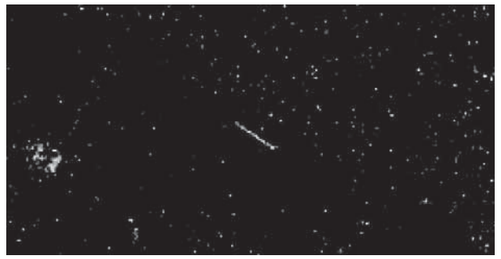
【映像特論】
アニメーション、映画、ゲーム、メディアアートなどの各分野の映像制作論に加え、映像表現の変遷や映画教育論などの映像学に触れることで広く映像文化を学びます。

【映像技法演習】
前期ではフィルム映画制作について、実際の作業を通して専門的に理解します。後期ではコンピュータを用いた映像制作技法のうち、ポストプロダクション及びマスタリングの技術について学びます。また、演習によりDCP（映画上映用データフォーマット）について理解します。

【映像制作（一）】
前期授業では受講者がそれぞれの企画案に基づき制作研究テーマを定め、制作を進めます。後期授業では、進級制作として作品およびレポート（小論文）を課題として提出します。個々の作品提示とプレゼンテーションを伴う講評の機会に受講者全員が参加し、受講者の研究制作全体を把握した担当教員全員から研究内容に即した指導を受けます。

【映像制作（二）】
前期制作、修了制作を通して現代における映像表現の芸術的思考を深めながら、修了制作の完成に向けて高度な研究制作を行います。個々の作品提示とプレゼンテーションを伴う講評の機会に受講者全員が参加し、受講者の研究制作全体を把握した担当教員全員から研究内容に即した指導を受けます。

広く映像文化を学び、映像表現を探求します



鈴木浩之

地球観測システムを利用した地上絵アニメーションの制作を行っています。衛星画像から地上の電波反射を抽出して描く地上絵作品とその制作プロセスのドキュメンタリー記録映像をまとめ「だいちの星座」プロジェクトとして公開しています。宇宙航空研究開発機構（JAXA）との共同研究に力を入れると共に、国内外で作品制作と発表を続けています。

早見紗也佳

東京国立近代美術館フィルムセンター（ 現、国立映画アーカイブ） でフィルムアーカイブを学び、その後、出張映写、また都内の映画館での映写業務に携わりました。現在は各地での映画祭等で上映技術の提供を行っています。また、デジタルメディア及びフィルムを用いての映像制作を行い、国内外で作品発表を行っています。

（授業風景は油画専攻 映像表現コースやアニメーション課題のもの）

客員教授・非常勤講師

各分野の専門家が客員教授・非常勤講師として講義・演習・実習などの指導にあたります。

〈客員教授〉
萩原朔美（萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち 前橋文学館）、細田守（アニメーション映画監督）

〈非常勤講師〉
石田尚志（多摩美術大学）、亀井岳（映画監督）、菊谷達史（美術作家）、キヤマミズキ（アニメーション作家）、口出洋徳（コトジット）、黒坂圭太（武蔵野美術大学）、田所淳（前橋工科大学）、土肥悦子（こども映画教室）、仲本拡史（映像作家）、氷川竜介（アニメ・特撮研究家）、Blackmagic Design、前川裕介（映像・写真カメラマン）、宮崎昭秀（クリエイティブ ディレクター）、宮原康展（映像ディレクター）、森岡東洋志（ベースドラム）、安原広和（東京工科大学）

博士後期課程

金沢から世界へ。

深く、豊かに学び、大きく羽ばたく。

美術作家として、また研究者として

より高い領域に到達するための

高度なカリキュラム。

世界を目指し、鍛錬を重ねます。

実技と理論の総合研究

大学院博士後期課程では、「芸術に関する高度な創造および表現の技術と理論を研究教授し、地域の美術工芸の深奥を究め、これを総合的に発展創造させ、自立して創作および研究活動を行うために必要な高度の能力を備えた美術家および研究者を養成すること」を目的とした研究制作指導・博士論文指導を行っています。年2回公開の研究発表が行われるほか、「地域美術演習」、「造形総合研究」といった実技と理論を総合した学際的な科目も設けられ、学内外を研究の場とした比較的自由なカリキュラムのなかで研究が保証されています。博士後期課程の学生たちは国内外で活躍する作家、研究者でもあり、積極的に広く研究活動の場を求めています。1997年の設置以来、作家、デザイナー、研究者、国内外の大学教員など、精力的に活躍している68名の芸術博士を世に送り出してきました。

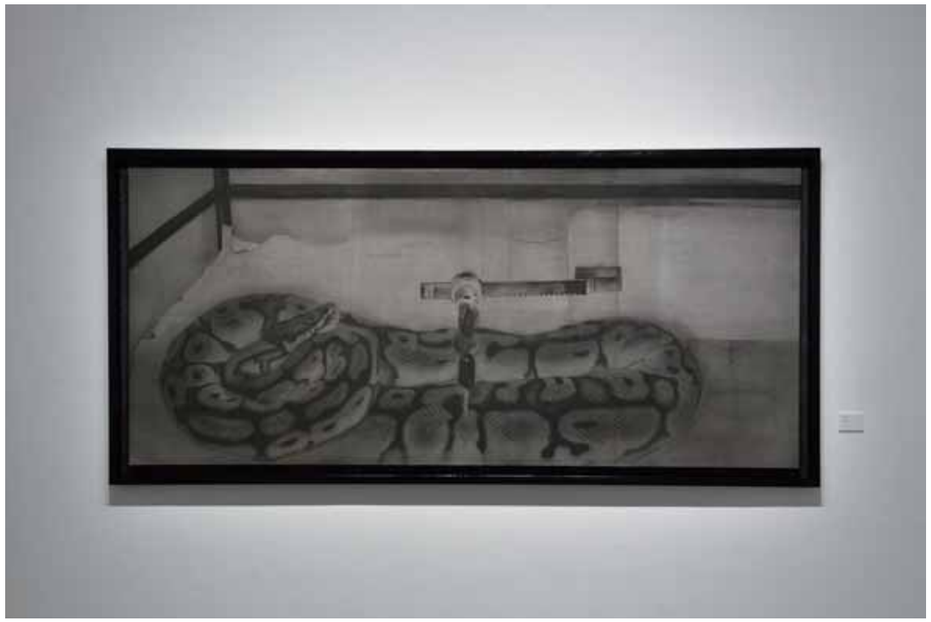
宮崎 竜成
トリプティック(body hazard) ミクストメディア サイズ可変 2023年

〈美術研究領域〉
- 日本画
- 油画
- 彫刻

〈工芸研究領域〉
- 陶磁
- 漆芸
- 金工
- 染織

〈環境造形デザイン領域〉
- 環境デザイン
- ヴィジュアルデザイン
- プロダクトデザイン

〈芸術学研究領域〉
- 美学・現代評論
- 現代美術領域制作・理論
- 視覚文化研究・近現代工芸史
- 日本・東洋美術史
- 西洋美術史



中田 日菜子
蛇を踏む　絹、墨、膠、額縁　H112.3×W255×D3.3cm　2023年

中田 日菜子
桑　和紙、顔料、墨、膠　H173.0×W172.5×D1.8cm　2023年

宮崎 竜成
トリプティック(body hazard)　ミクストメディア　サイズ可変　2023年

宮崎 竜成
眼と精神　キャンバス、油彩、モニター映像　H144×W144cm　2023年

李 逸琰
乾漆蒔絵箱「人魚の嘆き」　H10×W12.5×D12.5cm　2022年

李 逸琰
楕円蒔絵箱「人魚の嘆き」　H7.7×W20.5×D24.5cm　2022年

大学情報

主計町

美術工芸研究所

美術工芸研究所では、内外の美術工芸の学際的研究、工芸の継承・育成、地域の文化発展への助言・協力、美術工芸資料の収集、保存、調査研究、展示、教育に関する事業を行っています。

所長　原 智 教授（工芸科）
保井 亜弓 教授（西洋美術史）
水野 さや 教授（日本・東洋美術史）

「鉄地京都風景図象嵌香箪笥」駒井　明治時代　高18.0cm

最近の研究

平成の百工比照収集作成事業（デジタルアーカイブ作成を含む）（平成22年度～）
高屋肖哲 新出一括資料の整備・調査（平成27年度～）
益田祐作コレクションの整備・調査（平成27年度～）

資料収集と活用

本学の所蔵品は、本学ゆかりの作家や世界的に著名な芸術家の作品を含め約6,900点にのぼります。さらに、卒業・修了制作と論文の中から優秀な作品を選考して購入する買上制度を通じて、開学間もない昭和24年以来、約1,200点の学生買上作品を収集してきました。これらは美術工芸研究所ギャラリー等での展示や、他の美術館への貸出を通じて学内外へ広く公開され、教員・学生の授業や研究の素材としても活用されています。

教育と地域交流

令和元年度より、日本に滞在中の外国人留学生を対象として、本学教員の指導の下で金沢の工芸を見て聞いて体験し、日本の文化に触れる「KANABI工芸セミナー」を開講するなど、工芸文化の紹介や地域間の交流促進をはかる活動をおこなっています。

美術工芸研究所ギャラリー

平成29年4月に本学の一般公開型の展示施設として整備されました。ギャラリーには、所蔵品の企画展示コーナーと、全国規模で収集した約6,200点（令和4年度末時点）の工芸資料を棚から自由に取り出してご覧いただける「平成の百工比照」の常設展示・閲覧コーナーがあります。年間数回の企画展を通じてさまざまな角度から本学の所蔵品をご紹介しています。

※キャンパス移転準備のため、令和5年度の現キャンパス内美術工芸研究所ギャラリーは閉室しています。

「収蔵作品展～近現代の絵画・彫刻～」
令和4年4月8日～5月27日　美術工芸研究所ギャラリー

「卒業・修了制作買上作品セレクション2022」
令和4年6月13日～7月29日　美術工芸研究所ギャラリー

教育研究センター

本学教員の研究を紹介する研究発表展の開催や、他大学との研究者間交流事業を行っています。また、本学学生に対する教育の充実をはかるため、教員の教育活動支援事業を実施しています。加えて、免許状更新講習を通じて、全国の美術教育の資質・能力の向上に貢献しています。

センター長　荷方 邦夫 教授（一般教育等）

「金沢美術工芸大学 教員研究発表展2022 美大のしごと」
令和4年12月6日～12月11日　金沢21世紀美術館市民ギャラリーA

柳宗理記念デザイン研究所

本学で長年にわたり、教鞭をとった世界的工業デザイナーである柳宗理氏（1915－2011）のデザイン思想やデザイン史における位置づけを明らかにする調査研究を進め、その成果を学生の教育にいかし、広く社会へ発信することを目的としています。

所長　寺井 剛敏 教授（ホリスティックデザイン）

展示資料室1（常設）

「技術とかたち －柳宗理の木工家具－ 曲木」
平成31年3月29日～令和元年5月26日　柳宗理記念デザイン研究所展示資料室2

社会連携センター

金沢美術工芸大学は社会貢献を教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・産学連携をとおして積極的に活動を行っています。本学の持つデザイン、美術工芸分野に関する専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元するとともに、産業や地域の活性化に貢献し、これらの活動を体験することで、より実践的に社会に貢献できる人材を育成します。

社会連携センター長　寺井 剛敏 教授（ホリスティックデザイン）

地域連携部門

本学のもつ人的資源やノウハウを活用し、地域社会や市民生活に対する芸術文化貢献事業などを通し、グローバルな視点を持ちながら地域の課題解決に取り組んでいます。

産学連携部門

地域産業や伝統文化の発展のため、企業、組合団体、他大学、研究機関、国や自治体などと連携し、新しい価値を創出する研究開発や、新たな産業・事業の振興を目指しています。

知財管理部門

大学で生まれた知的財産権の管理、活用や戦略立案、知的財産権を通じた社会との連携促進まで、産業界や地域社会と一体となって各連携部門の活動を支援、推進しています。

金沢マラソン 完走メダルデザイン・プロジェクト

金沢マラソンは金沢をまるごと「走る！」をキャッチフレーズに2015年から開催されており、金沢の魅力が満喫できるフルマラソンとして大変人気の高い大会となっています。その完走者に贈るメダルのデザインを、初回大会から続けて提案させていただいています。学生たちの豊かな感性をベースにした金沢らしいオリジナリティあるデザインの完走メダルは、毎回、ランナーからも大変好評となっています。

「JAPANプライドポテト 金沢の甘えび」 パッケージデザイン・プロジェクト

株式会社湖池屋との連携研究として3年連続で行われているプロジェクトです。「日本の誇り」をプライドポテトにのせて発信することで、日本の風土・文化により育まれてきた歴史や精神に象徴される日本の素晴らしさを世の中に広めるプロジェクトで、金沢を代表する甘えび味の商品パッケージデザインを学生たちが制作し、金沢市内の小学生、市民など約3万件の投票結果を踏まえ最終案が商品化されました。
毎年、全国販売され好評を得ています。

ホスピタリティアート・プロジェクト

金沢市立病院との連携により2009年から継続して行われている、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探求するプロジェクトです。ステンドグラス風の装飾を制作するワークショップや、病院を作品で満たすホスピタル・ギャラリーなどを通して、患者、医療関係者、学生が同じ視点で時間を共有するコミュニケーションの在り方を研究しています。

メガネのデザイン・プロジェクト

福井県眼鏡協会との連携によるプロジェクトで、もとをただせば「めがね部」という学生が主体のクラブ活動に端を発し2003年から継続されている研究です。研究成果やノウハウは先輩から後輩へ引継がれ蓄積されており、商品化の実績もあります。メガネの世界的な産地である福井県鯖江市の世界トップクラスの技術、品質、信頼性と学生ならではの創造性の融合により、産地の活性化にも貢献しています。

附属図書館

万巻の書籍から、達成できる研究がある
1カットの挿絵から、ひらめく発想がある
本の世界、そしてマルチメディアへ

蔵書　2023.3.31 現在

図書	123,692冊
和書	95,131冊
洋書	28,561冊
雑誌	1,481誌
和書	1,321誌
洋書	160誌
視聴覚	3,375タイトル

利用状況　2022年度

入館者数	19,094人
貸出冊数	13,067冊
市民登録者数（累計）	1,259人

「大学で美術を学ぶ」ということは、自分の表現や意識をいつも振り返り、自分なりのコトバやカタチを見つけていくことと言えるでしょう。そのアドバイザーとなる場所が図書館です。
本学附属図書館の歩みは、1946年金沢美術工芸専門学校の設立から始まりました。時代も貧しく、200冊程度の教員の持ちよりから図書館が始まったのです。
なんてほのぼのした時代だったのでしょう！その後、図書館棟は、1972年の現在のキャンパス移転に伴って新築され、旧キャンパスの図書館棟（かつての本多蔵品館）の設計をそのまま引き継いだ由緒ある建築物です。
2000年には現在のように増築され、快適な環境が用意されました。
蔵書は美術・工芸・デザイン関係の図書を中心に、現在12万冊を超えています。国内外の貴重な画集や研究書の古典籍、江戸時代の和綴本も多くあります。
また美術の研究に供するため、東西の文学、歴史、哲学、宗教等の隣接分野の辞書、全集、研究書などの収書にも力を入れています。学生からの購入リクエストの制度もあります。
OPACシステムで簡単に蔵書検索ができて本へのアクセスは容易ですし、全国の大学間での相互貸借も可能です。
本だけではありません。ビデオやDVDなどの視聴覚資料には、伝統工芸から現代美術まで、また古典映画などの収集にも力を入れています。これらは館内のAVブースで自由に閲覧ができます。
図書の活用法や専門書の探索など、分からないことがあったら遠慮なく質問してください。図書館職員や教員ライブラリアンが丁寧に助言してくれるでしょう。
もちろん、友人どうしで教え合うことも大切です。図書館はコミュニケーションのひろばです。

附属図書館長　桑村 佐和子 教授（一般教育等）

国際交流

世界を舞台に活躍する芸術家、デザイナー、研究者などの育成を目指し、海外作家講演会、海外作家招聘事業、大学間交流などの国際交流活動を行っています。

国際交流センター長　稲垣 健志 准教授（一般教育等）

海外作家講演会

海外のアーティスト、デザイナー、大学教員、研究者等による講演会です。
各分野の専門知識や最新の情報・動向を得る機会を提供しています。

スザーン・ロス 氏

リチャード・ファンデルラーケン 氏

大学間交流

ゲント王立美術アカデミー（ベルギー／ゲント）、ナンシー国立高等美術学校（フランス／ナンシー）、清華大学美術学院（中国／北京）、大連工業大学（中国/大連）と交流協定を結び、学生・教職員の相互派遣などを行ってきました。今後も順次大学間交流を拡充していく予定です。

ゲント王立美術アカデミー（ベルギー）

ゲント視察

ゲントへの短期派遣留学

研究発表をするゲントからの留学生

ナンシー国立高等美術学校（フランス）

ナンシー視察

ナンシー姉妹都市交換留学生

ナンシーとゲントからの
留学生を交えた授業の様子

清華大学美術学院（中国）

授業に参加する清華からの留学生

蒋 斌氏（清華）を囲んだ昼食会

短期派遣留学生帰国報告会

大連工業大学（中国）

国立台湾芸術大学との学術交流協定締結式

留学生を交えた授業

金沢美術工芸大学のキャンパス移転について

金沢美術工芸大学は、1946年（昭和21年）、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立されました。
昭和30年には4年制大学として認可され、美術・工芸・デザインの各分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、これまでの間、多くの人間国宝や第一線で活躍するクリエイターを輩出し、国内外の文化・芸術の発展を支えてきています。
しかしながら、大学の活動拠点である現キャンパスは、築40年を経過したことによる老朽化が著しく、また、建物の耐震性や制作スペースの不足等多くの課題があることから、金沢大学工学部跡地へのキャンパス移転が決定しました。

主な経過

平成26年2月	金沢市が「世界の交流拠点都市金沢重点戦略計画」において、金沢美術工芸大学の移転整備を重点施策として位置づけ
平成28年2月	金沢美術工芸大学において、「金沢美術工芸大学新キャンパス構想」を策定し、金沢市長へ報告書を提出
平成29年2月	金沢美術工芸大学移転整備基本構想検討懇話会の報告をもとに、金沢市が「金沢美術工芸大学移転整備基本構想」を策定
平成30年2月	金沢美術工芸大学移転整備基本計画検討懇話会の報告をもとに、金沢市が「金沢美術工芸大学移転整備基本計画」を策定
平成30年9月	金沢美術工芸大学建設工事設計者選定委員会において、「SALHAUS（サルハウス）・カワグチテイ建築計画設計共同企業体」を最適設計者として決定
令和元年9月	金沢市が、「金沢美術工芸大学建設工事基本設計」をとりまとめ
令和2年9月	金沢市が、「金沢美術工芸大学建設工事実施設計」をとりまとめ

令和5年10月に新キャンパス移転
公式YouTubeでは、一部施設を先行公開中！！

アートプロムナード：大学の活動を広く発信する場となるキャンパスのメインストリート

創作の庭：共通工房に囲われ、学生が集中し自由に創作できるコミュニティ空間

アートコモンズ：キャンパス全体に分散して配置された展示や合評のためのスペース

図書館：ラーニングコモンズ等の機能を充実させたスペース

新キャンパス外観

学生生活

美大祭

毎年11月の初旬に、自治会（美大祭実行委員会）の主催で美大祭を開催しています。学生の作品展示、講演会、仮装パレード、模擬店など多彩な催しです。学生・教職員相互の親睦はもとより、市民との交流を深めるお祭りです。美大生にとって、学生生活のなかで一番思い出に残る行事でもあり、同時に大学所蔵品の展示など、美大を市民に公開する絶好の機会でもあります。

五芸祭

金沢美大・東京藝大・愛知芸大・京都市立芸大・沖縄芸大の学生及び教職員が、「毎年5月下旬に当番大学に集い、体育行事を中心として互いの芸術文化活動の交流をはかる伝統的な催しで、既に65回の歴史を有します。スポーツクラブは順位を競い、全種目の総合得点で五芸祭優勝校が決まります。音楽部門を有する他大学を主体に、合同演奏会なども催されます。何よりも学生・教員にとって交流・情報交換ができる貴重な機会となっています。

クラブ活動

本学には、体育系22、文化系23のクラブがあり、多くの学生が活動に参加しています。他大学におけるクラブ活動とは少し様相を異にし、のびのびとスポーツを楽しむ、同じ趣味の仲間が集うといったクラブが多く学年、専攻を越えた友好の場となっています。

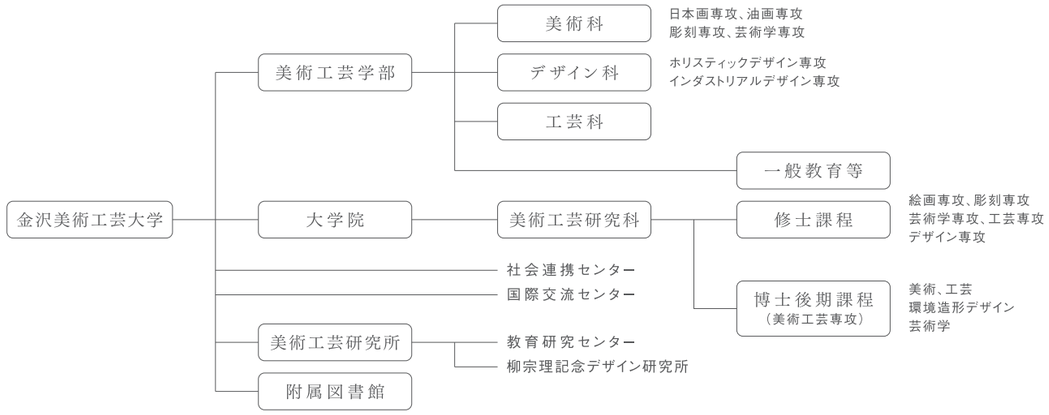
学外研修

各専攻実習授業の一環として、年に4日～9日間の研修が実施されています。各専攻の研究内容、社会情況、学生事情等にあわせて計画・研修地が選ばれ、国内外の古美術研修、郊外写生授業、企業実習体験、アトリエ訪問などを行います。学生にとっては数少ない宿泊を伴う研修で、近年は海外研修を実施する専攻もあり、学生が楽しみにしている授業のひとつです（旅行費用等は入学時に納入）。

生活支援

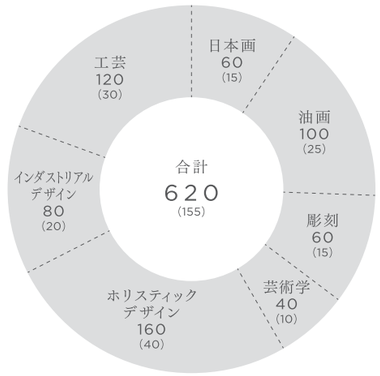
キャンパスライフに密着したさまざまな支援体制が整えられています。弁当やパン等の販売はもちろん、画材を調達できる売店が用意されているほか、体の健康維持のための保健室やこころの相談を気軽にできる学生相談室が開設されています。また経済的な安定には、日本学生支援機構をはじめ各種の奨学金制度を利用することができるほか、事務局の窓口にはアルバイト情報や下宿情報が用意され、就職支援も行っております。また、個展やグループ展を開きたいという意欲のある学生には展覧会補助制度があり、留学を志す学生には、ヨーロッパやアジアの美術学校への派遣制度もあります。

大学の組織（2023）

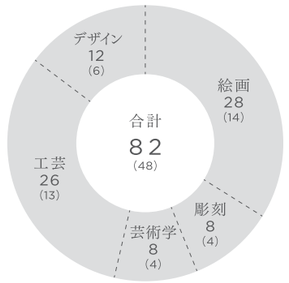


学生数（2023）

学部［定員］

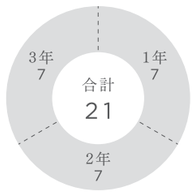


修士課程［定員］



博士後期課程［定員］

美術工芸専攻



※( )内は各学年の定員数です。

出身校所在地別入学者数（2023）

都道府県別	156
石川県	24
愛知県	24
大阪府	10
千葉県	7
東京都	7
京都府	7
神奈川県	6
岐阜県	6
兵庫県	6
福岡県	6
その他	53

地方別	
北海道地方	4
東北地方	2
関東地方	27
中部地方	66
近畿地方	31
中国地方	6
四国地方	3
九州地方	15
その他	2

入学試験結果

		2023						
		一般選抜			推薦入試			入学者
		募集人員	志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率	
美術科	日本画	15	85	5.7	-	-	-	15
	油画	25	127	5.1	-	-	-	26
	彫刻	15	42	2.8	-	-	-	15
	芸術学	7	12	1.7	3	8	2.7	10
デザイン科	ホリスティックデザイン	40	332	8.3	-	-	-	40
	インダストリアルデザイン	18	68	3.8	2	14	7.0	20
工芸科		24	122	5.1	6	29	4.8	30
合計		144	788	5.5	11	51	4.6	156

学費

入学金

金沢市内居住者（入学手続時に納入）	282,000円
上記以外の者（入学手続時に納入）	423,000円

授業料

年間	535,800円
前期分（4月30日までに納入）	267,900円
後期分（10月31日までに納入）	267,900円

その他の経費

1.成美会費［後援会費］（入学手続後に納入） 60,000円

2.学生自治会費（入学手続後に納入） 10,000円

3.研修旅行費（入学手続後に納入）

日本画専攻	100,000円
油画専攻	200,000円
彫刻専攻	100,000円
芸術学専攻	100,000円
インダストリアルデザイン専攻	120,000円
工芸科	130,000円

4.専攻実習費内訳（入学手続時に支払う分）

日本画専攻	110,000円
油画専攻	90,000円
彫刻専攻	280,000円
ホリスティックデザイン専攻	100,000円
インダストリアルデザイン専攻	120,000円

※入学金・授業料等は改定される場合があります。
※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。
※納入した入学金・授業料は返還しません。
※高等教育の修学支援制度の対象となっています。

奨学金

2022年度（令和4年度）

奨学金の名称	給付・貸与の別	支給対象学生数	対象	1件あたりの年間支給額
日本学生支援機構奨学金（第一種）	貸与	116	学部	(平均) 486,000円
日本学生支援機構奨学金（第二種）	貸与	95	学部	(平均) 720,000円
日本学生支援機構奨学金（第一種）	貸与	22	大学院	(平均) 930,000円
日本学生支援機構奨学金（第二種）	貸与	1	大学院	(平均) 600,000円
日本学生支援機構奨学金	給付	64	学部	(平均) 667,200円
あしなが育英会大学奨学生	給貸併用	3	学部・大学院	(平均) 850,000円
中村積善会奨学金	給貸併用	1	学部・大学院	960,000円
神山財団芸術支援プログラム	給付	3	大学院	200,000円
国際瀧富士美術賞	給付	1	学部	300,000円
戸部眞紀財団奨学生	給付	1	学部・大学院	600,000円
電通育英会奨学生	給付	1	学部・大学院	480,000円
澁谷学術文化スポーツ振興財団奨学生	給付	1	学部・大学院	500,000円

※令和5年3月現在

外国人留学生奨学金

2022年度（令和4年度）

奨学金の名称	給付・貸与の別	支給対象学生数	対象	1件あたりの年間支給額
石川県私費外国人留学生奨学金（入学から1年未満）	給付	2	大学院	240,000円
日本台湾交流協会日本奨学金	給付	1	大学院	1,740,000円
平和中島財団奨学金	給付	1	学部・大学院	1,200,000円

※令和5年3月現在

生活費のめやす

ひとり暮らしの場合（1ヶ月当たりの金額）

家賃（共益費を含む）	25,000円～60,000円	［平均37,000円］
食費	10,000円～53,000円	［平均27,000円］
部屋の広さ	6畳～15畳	［平均9畳］
光熱水費（ガス・水道・下水道・電気）	4,000円～15,000円	［平均9,000円］

大学周辺にはたくさんの学生向け住宅等があり、徒歩や自転車で10分程度の通学範囲です。
近所に友達が住んでいるという環境で、学生同士の交流が活発なため、女子学生にも安心です。
また、一軒家をシェアして借りる学生もおり、住み方は様々で、通信費や光熱費込みとなっている住宅等もあります。
なお、入学手続きの際に、本学に不動産業者の出張所が設置されますので、そこで住居を決められる方もいます。

教員一覧

客員教授

村居 正之(日本画)
米谷 清和(日本画)
北田 克己(日本画)
遠藤 彰子(油画)
木村 克朗(油画)
萩原 朔美(油画)
藤 浩志(彫刻)
深井 隆(彫刻)
片岡真実(芸術学–SCAPe)
谷 晃(芸術学)
Rebecca Jennison (芸術学–SCAPe)
石浦 弘幸(視覚デザイン)
小山 弓弦葉(視覚デザイン)
川村 真司(視覚デザイン)
中垣 信夫(視覚デザイン)
蓮池 槙郎(インダストリアルデザイン)
倉本 仁(インダストリアルデザイン)
鈴木 啓太(インダストリアルデザイン)
太刀川 英輔(インダストリアルデザイン)
原田 則彦(インダストリアルデザイン)
新保 智子(環境デザイン)
須田 武憲(環境デザイン)
廣村 正彰(環境デザイン)
鷲田 めるろ(環境デザイン)
影山 公章(工芸)
樋田 豊次郎(工芸)
今泉 今右衛門(工芸)
森口 邦彦(工芸)
山岸 一男(工芸)

日本画

教授
松崎 十朗
佐藤 俊介
荒木 恵信

准教授
石崎 誠和

非常勤講師
荒木 史(装潢師)
岩田 壮平(武蔵野美術大学)
岡村 桂三郎(多摩美術大学)
北澤 憲昭(美術評論家)
岸野 香(女子美術大学)
新恵 美佐子(作家)
土屋 禮一(本学名誉教授)
中村 賢次(崇成大学)
並木 秀俊(作家)
仁志出 龍司(本学名誉教授)
野地 浩一郎(泉屋博古館東京)
能島 浜江(作家)
林 秀樹(作家)
松永 敏(作家)
森 美樹(作家)
山田 毅(作家)
山本 隆(作家)

油画

教授
三浦 賢治(絵画)
大森 啓(絵画)
高橋 治希(絵画・立体・空間表現)
鈴木 浩之(絵画・映像)

准教授
岩崎 純(絵画・ミクストメディア)

講師
武田 雄介(絵画・インスタレーション)
早見 紗也佳(映像)

非常勤講師
足立 智美(作家)
石田 尚志(多摩美術大学)
内田 望美(作家)
江口 綾音(作家)
奥野 惠(アートフロントギャラリー)
神谷 佳男(版画作家)
喜井 豊治(モザイク作家)
黒坂 圭太(武蔵野美術大学)
佐藤 一郎(本学名誉客員教授)
末松 智(造形作家・復元図家)
中桐 聡美(作家)
永田 康祐(アーティスト)
西山 美なコ(作家)
丹羽 洋介(作家)
長谷川 新(インディペンデントキュレーター)
東村 アキコ(まんが家)
福島 唯史(日本大学)
藤井 俊治(成安造形大学)
藤原 工(照明デザイナー)
細川 貴司(東北芸術工科大学)
前川 裕介(写真・映像カメラマン)
松村 浩之(富山大学)
宮原 康展(CMディレクター)
向川 惣一(美術史家)
村上 良(ホルベインラボ株式会社)
山本 順子(作家)
山本 基(作家)
横江 昌人(作家)

彫刻

教授
石田 陽介
土井 宏二
浜田 周
芝山 昌也

准教授
津田 道子

非常勤講師
小清水 漸(京都市立芸術大学名誉教授)
林 一平(彫刻家)
渡辺 秀亮(石彫家)
本郷 芳哉(彫刻家)
宮永 愛子(作家)

芸術学

教授
菊池 裕子(近現代工芸史、現代視覚文化研究)
よしだ ぎょうこ(現代美術)
兼)保井 亜弓(美術工芸研究所)
兼)水野 さや(美術工芸研究所)

准教授
金島 隆弘(現代美術・キュレーション)

講師
山本 浩貴(美学・芸術評論)

非常勤講師
今西 泰赳(生物学者・陶芸家)
岡 泰央(4代目岩太郎、岡墨光堂)
加治屋 健司(東京大学)
片岡 真実(森美術館)
神谷 佳男(本学名誉教授)
北澤 憲昭(美術批評)
木下 直之(静岡県立美術館)
幸福 輝(元国立西洋美術館)
坂本 雅美(紙本修復家)
佐々木 千嘉(金城大学)
さわ ひらき(メディアアーティスト)
佐直麻理子(アーティスト)
塩谷 純(東京文化財研究所)
ジョン・トラン(美術批評家・写真家)
蘇 哲(金城大学)
宋 有宰(金沢大学)
ブライアン・ジョン・ソロモン(国連大学)
中村 卓夫(陶芸家)
名雪 園代(造形作家)
長谷川 祐子(金沢21世紀美術館)
林 一平(木彫作家)
毎田 健治(加賀友禅・毎田染画工)
毎田 仁嗣(加賀友禅・毎田染画工)
森 仁史(元・柳宗理記念デザイン研究所)
レベッカ・ジェニソン(京都精華大学名誉教授)
呂夢(金城大学)
渡邊 明敏(英文学者)
渡辺 秀亮(石彫家)

ホリスティックデザイン

教授
角谷修(空間デザイン)
寺井剛敏(ブランディング)
鍔隆弘(ランドスケープ)
鈴木康雄(映像)
畝野裕司(空間グラフィック)
北村賢哉(プロダクト)
坂野徹(エディトリアル)

准教授
廣瀬純子(ファッション)
西本耕喜(建築)

講師
樺島 脩(ゲーム)

非常勤講師
※現視覚デザイン専攻・現環境デザイン専攻の非常勤講師を含む

朝山 勝允(NHK)
池田 洋一郎(ミュージシャン)
石井 うさぎ(Executive Creative Director)
上坂 達朗(東洋設計)
大西 英史(大西英史企画制作室)
岡野 邦彦(shotype design)
沖津 真美(Epice)
尾上 永晃(電通)
金子 早苗(金子早苗建築空間設計室)
川上 すみれ(乃村工藝社)
北川 勝明(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)
国枝 千晶(スクリーンプロセスクニエダ)
熊倉 桂三(山田写真製版所)
熊崎 信也(ハル研究所)
桑原 秀平(博報堂)
洪 恒夫(丹青社)
駒井 麻朗(MA·DO Inc.)
下浜 臨太郎(アートディレクター)
坂本 英之(金沢美術工芸大学名誉教授)
相楽 賢太郎(ポラーノ)
作本 慎介(ニコットラボ)
佐々木 隼(オインクゲームズ)
佐藤 和子(デザイン・ジャーナリスト)
白井 敬尚(グラフィックデザイナー)
須田 武憲(GK 設計)
高橋 歩(クリエイティブディレクター)
高村 達(写真家)
舘田 千里(オータニアートスクール金沢)
谷 清鳳(乃村工藝社)
とりごえ まり(絵本作家)
鳥海 修(字游工房)
中川 暁文(作家)
中里 唯馬(YUIMA NAKAZATO 代表取締役)
中村 政義(アトラクチャー)
橋本 浩司(橋本建築造園設計)
早川 和良(xpd)
春名 伊佐也(乃村工藝社)
廣村 正彰(廣村デザイン事務所)
藤岡 篤子(f プロジェクト 代表)
藤岡 将史(電通クリエーティブX)
丸岡 喜市(丸岡樹仙堂)
神子澤 知弓(神子澤知弓デザイン事務所)
三村 起一(地球環境戦略研究機関)
村田 悟(高田産業)
安井 裕雄(三菱一号館美術館 上席学芸員)
山口 省一(mycolorsp)
山田 憲子(設計事務所あとりいえ。)
山本 周(山本周建築設計事務所)
吉川 豪(パナソニック)
吉川 義盛(京都精華大学)
吉村 寿博(吉村寿博建築設計事務所)
米村 浩(Bright Side LLC／博報堂)
林野 紀子(りんの設計一級建築士事務所)

インダストリアルデザイン

教授
浅野 隆(モビリティデザイン)
河崎 圭吾(家電デザイン)
安島 諭(公共用品デザイン)
入矢真一(UI・UXデザイン)
根来 貴成(家具・インテリア製品デザイン)

非常勤講師
秋田 純一(金沢大学)
稲垣 揚平(エイジデザイン)
井手 裕紀(NEC)
小倉 ひろみ(スタジオピーパ)
小野 正晴(MAGARIMONO inc.)
辛島 孝(オカムラ製作所)
越野 亮(石川工業高等専門学校)
熊崎 純一(NEC)
佐藤 和子(デザインジャーナリスト)
杉本 匡史(関西学院大学)
高橋 英行(テクノロジー・ジョイント)
舘田 千里(オータニアートスクール)
田渕 寛之
都筑 尭志(ミュージー)
永原 隆(DDS)
西澤 明洋(エイトブランディングデザイン)
日高 一樹(日高国際特許事務所)
福島 健一(フォトグラファー)
藤田 光一(柳工業デザイン研究会)
益田 文和(オープンハウス)
丸山 幸伸(HITACHI)
三澤 直加(グラグリッド)
水口 克夫(Hotchkiss)
宮澤 貴司(スズキ)
矢島 幹生(いすゞ自動車)
結城 康和(スズキ)
吉川 豪(パナソニック)
米村 浩(Wieden+Kennedy Tokyo)
渡邊 恵太(明治大学)

工芸

教授
田中 信行(漆造形)
山村 慎哉(漆芸)
山本 健史(陶造形)
原 智(鍛金)
大高 亨(染織)
池田 晶一(陶造形)
足立 真実(織)
加賀城 健(染色)

准教授
宮永 春香(陶磁)
青木 千絵(漆造形)
水代 達史(彫金)

講師
上田 剛(鋳金)

非常勤講師
〈陶磁〉
手島 敦(陶磁・釉薬)
竹内 智恵(陶磁・染付)
中田 雅巳(陶磁・ロクロ)
田 聡美(ガラス)
牟田陽日(陶磁・上絵)
角目里美(陶磁・上絵)
〈漆木工〉
中嶋 虎男(木工芸・挽物)
田村 一舟(漆芸・蒔絵)
大薮 泰(漆材料科学)
金田 一司(木工芸・刳物)
荒川 文彦(漆芸・髹漆)
酒井 忍(木工芸・指物)
名雪 園代(漆芸)
〈金工〉
桂 盛仁(彫金・重要無形文化財技術保持者)
中川 衛(彫金・重要無形文化財技術保持者)
藤田 政利(鍛造)
田口 史樹(ジュエリー)
畠山 耕治(鋳金)
宮崎 匠(鋳金・惣型)
角居 康宏(鋳金)
杉村 紗季子(精密鋳造)
〈染織〉
毎田 健治(友禅)
関島 寿子(バスケタリー)
福本 繁樹(染色)
平木 有二(染織研究)
平木 三重子(織物)
八幡 はるみ(染色)
宮越 仁美(刺繍)
吉本 大輔(友禅)
弘田 朋実(織物)
〈共通〉
矢地 幸子(華道)
奈良 宗久(茶道)
金谷 勉(クリエイティブディレクション)
金堂 佳永子(就職面接マナー演習)
餘久保 優子(デジタルファブリケーション)
吉田 絵美(デジタルファブリケーション)
太田 翔平(デジタルファブリケーション)

一般教育等

教授
青柳 りさ(仏語・仏文学)
高橋 明彦(日本文学)
桑村 佐和子(教育学)
大谷 正幸(化学・エルゴソフィ)
荷方 邦夫(心理学)
渋谷 拓(博物館学)

准教授
稲垣 健志(英語・イギリス文化)

講師
ディビッド・ブルースター(英語・社会学)

非常勤講師
村中 達矢(金沢大学)
佃 貴弘(北陸大学)
鏡味 治也(金沢大学)
松永 篤知(金沢大学)
東 雅宏(白山市役所)
正木 恵美(語学講師)
廣田 篤(語学講師)
ブラッド・ウィンフィールド(語学講師)
マーク・ハモンド(金沢大学)
神谷 佳男(語学講師)
高橋 麻帆(語学講師)
石黒 盛久(金沢大学)
宮下 孝晴(金沢大学名誉教授)
村戸 弥生(語学講師)
熊谷 史佳(体育講師)
竹井 早葉子(体育講師)
有馬 佳子(小学校教員)
杉森 公一(北陸大学)
田部 絢子(金沢大学)
坪田 美如(高校教員)
西澤 明(中学校教員)
平石 晃樹(金沢大学)
森田 ゆかり(金城大学短期大学部)
安田 淳(作家、高校教員)
横江 昌人(作家、高校教員)
鷲山 靖(金沢大学)
鴨木 年泰(東京富士美術館)
川端 典子(朝日町埋蔵文化財センターまいぶんKAN)
近藤 浩二(滑川市立博物館)
尺戸 智佳子(黒部市美術館)

美術工芸研究所

教授
保井 亜弓(西洋美術史)
水野 さや(日本・東洋美術史)

基礎科目

非常勤講師
宮原 康展(映像メディア)
尾崎 紀之(美術解剖学)
木田 拓也(日本美術史Ⅱ)
加藤 敦子(日本美術史Ⅱ)
平岡 三保子(東洋美術史Ⅱ)
山本 緑(東洋美術史Ⅱ)
木下 亮(西洋美術史Ⅱ)
鯖江 秀樹(西洋美術史Ⅱ)
ジョルジオ・サラーニ(工芸史Ⅱ)
ヘレナ・チャプコヴァー(工芸史Ⅱ)
リリアナ・グランジャ・モライス(工芸史Ⅱ)
上田 恒夫(美術工芸特論・専門語学)
岩瀬 貴憲(絵画Ⅱ 版画)
北谷 至啓(絵画Ⅲ フレスコ)
渡部 匡人(工芸Ⅱ ガラス)
藤野 征一郎(工芸Ⅲ 木工)
田 聡美(工芸Ⅱ ガラス)
弘田 朋実(工芸Ⅳ 染織Ⅳ)
庄司 拓郎(映像メディア)
末松 智(図学)
金保 洋(図学)
渡邊 明敏(専門語学)
岩津 航(専門語学)
木村 恵一(専門語学)
蘇 哲(専門語学)
呂 夢(専門語学)

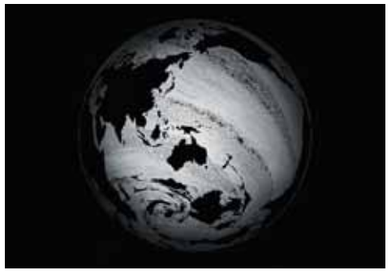
活躍する卒業生

日本画

北川 由希恵　2014年修了
「時を刻む蘇鉄」　2019年改組新第6回日展特選

帰山 正樹　2013年修了
「地を爬う虫」　第47回 日春展 奨励賞

油画



山本 基　1995年卒業
塩によるインスタレーション作品
OFXのCM（オーストラリア企業とのコラボレーション）

東村 アキコ　1998年卒業
「かくかくしかじか」　第19回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞
「東京タラレバ娘」　第6回ananマンガ大賞

彫刻

杉山 有希子　2011年修了
CRASH CA 02（2017）

山内 祥太　2014年卒業
太陽がどうしても近くにあるように感じられる（2021）

芸術学

石川 達紘　2018年修了
弘前れんが倉庫美術館 学芸統括

日置 樹也　2020年修了
石川県立美術館学芸員

ホリスティックデザイン

大黒 大悟　2003年卒業　HIDA: A Woodwork Tradition in the Making
2003年日本デザインセンター入社。2011年大黒デザイン研究室設立。
2018年から拠点をLAに移す。アート、ライフスタイル、テクノロジーにフォーカスし、新たな価値創出のための活動を行なっている。
※現視覚デザインの卒業生

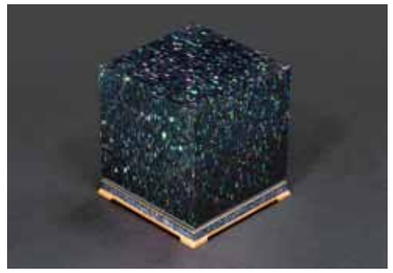
鈴永 泰士　2011年卒業
ショーウインドウ BRIDALFAIR2016 Christmas
株式会社ミキモト
※現環境デザインの卒業生

インダストリアルデザイン

石津雄登　2013年卒業
AI_DRONE
ソニー㈱

愛場 和樹　1994年卒業
SUBARU BRZ　エクステリアデザイン
㈱SUBARU

工芸



池田 晃将　2016年修了
「電光十進玉箱」
電光装飾-Cyber Effect-池田晃将 漆芸展（日本橋髙島屋）

久米 圭子　2011年修了
「wonders080」
第8回清州国際工芸公募展　特選

アクセス

大学への交通

電車　金沢駅下車

バス　金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル6番のりば
⑪東部車庫行、⑪金沢学院大学行、
⑫湯涌温泉行、⑫北陸大学薬学部行、
⑫北陸大学太陽が丘行、⑯駒帰行（乗車約25分）

金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル7番のりば
⑬湯谷原行

金沢駅西口（金沢港口）バスターミナル5番のりば
⑩東部車庫行、⑬湯谷原行（乗車約25分）
いずれのバスも「小立野（こだつの）」で下車してください。（徒歩約8分）

タクシー　金沢駅から約20分

自動車　北陸自動車道
金沢森本IC から約15分
金沢西IC から約25分

航空機　小松空港から

［バス］　リムジンバス（乗車約40分）
金沢駅下車
（乗り換え、東口、西口から電車の場合に同じ）

MEMO

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学
〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531　FAX 076-262-6594

2023年（令和5年）5月発行